

データベース構築促進及び技術開発に関する報告書

生命保険商品情報データベース  
プロトタイプ構築

平成11年3月

財団法人 データベース振興センター

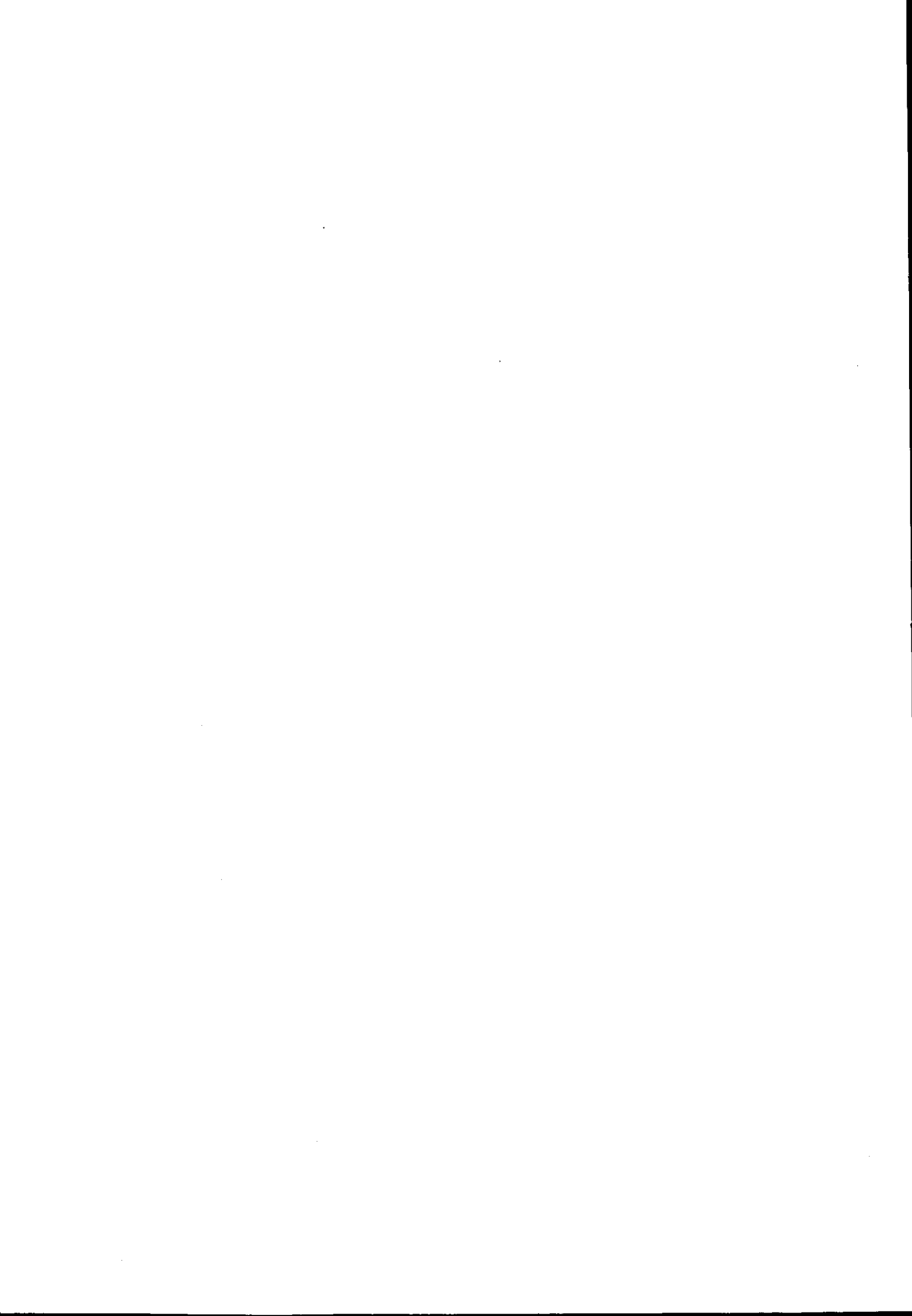
委託先 株式会社 平和情報センター

KEIRIN



この事業は、競輪の補助金を受けて実施したものである。





## 序

データベースは、わが国の情報化の進展上、重要な役割を果たすものと期待されている。今後、データベースの普及により、わが国において健全な高度情報化社会の形成が期待される。さらに海外に対して提供可能なデータベースの整備は、国際的な情報化への貢献および自由な情報流通の確保の観点からも必要である。しかしながら、現在わが国で流通しているデータベースの中でわが国独自のものは1/3にすぎないのが現状であり、わが国データベースサービスひいてはバランスある情報産業の健全な発展を図るためには、わが国独自のデータベースの構築およびデータベース関連技術の研究開発を強力に促進し、データベースの拡充を図る必要がある。

このような要請に応えるため、(財)データベース振興センターでは日本自転車振興会から機械工業振興資金の交付を受けて、データベースの構築および技術開発について民間企業、団体等に対して委託事業を実施している。委託事業の内容は、社会的、経済的、国際的に重要で、また地域および産業の発展の促進に寄与すると考えられているデータベースの構築とデータベース作成の効率化、流通の促進、利用の円滑化・容易化などに関係したソフトウェア技術・ハードウェア技術である。

本事業の推進に当って、当財団の学識経験者の方々に構成されるデータベース構築・技術開発促進委員会(委員長 東海大学教授 上條史彦氏)を設置している。

この「生命保険商品情報データベースプロトタイプ構築」は、平成10年度のデータベースの構築促進および技術開発促進事業として実施した課題の一つで、当財団が株式会社平和情報センターに対して委託実施したものである。この成果が、データベースに興味をお持ちの方々や諸分野の皆様方のお役に立てば幸いである。

なお、平成10年度データベースの構築促進および技術開発促進事業で実施した課題は次表のとおりである。

平成11年3月

財団法人 データベース振興センター

平成10年度 データベース構築・技術開発促進事業委託課題一覧

分野	課題名	委託先
社 会	1 生命保険商品情報データベースプロトタイプ構築	(株)平和情報センター
	2 ビジネス法定文書のサンプルフォームデータベースの構築	ジャスネットコミュニケーションズ(株)
	3 グループウェアによるISO 9001品質文書管理データベースツールの構築	日本電子開発(株)
地域活性化	4 地域対応型の農業技術情報データベース構築	アシストマイクロ(株)
技 術	5 登録ジオコードに基づく世界データベースシステムの開発	アジア航測(株)
	6 複数の認証局間における認証データベースの有利利用に関する調査研究	(株)イフ・アドバタイジング
地域振興	7 十勝毎日新聞記事データベース構築	(株)ケーシーズ
	8 付加価値データベースシステム構築に関する調査研究	(株)インタークラフト
	9 新規産業創出のための業種を融合した企業情報のデータベースの構築	(財)相模原市産業振興財団
	10 地域ホームページに係わるリンク集整備および自動巡回システムと全文検索エンジンを利用した効果的検索機能の開発	ミネルバ(株)
	11 古墳・遺跡の指標となる土器データ検索パイロットシステムの作成	凸版印刷(株)
	12 出雲古代遺跡デジタルデータベース構築	(株)出雲王国
	13 インターネットを利用した四国地域の研究者データベースの構築	(財)四国産業・技術振興センター
	14 長崎県観光写真素材データベースの構築	長崎メディアミックス協同組合
15 沖縄伝統空手・古武道国際人材リソースデータベース	(株)アイエムアイコーポレーション	

# 目 次

1. 概要 .....	1
1.1 目的 .....	1
1.2 実施内容 .....	1
1.2.1 検索ルート .....	1
1.2.2 コンテンツ作成 .....	3
1.2.3 開発環境 .....	4
1.2.4 開発体制 .....	4
1.2.5 作業スケジュール .....	5
2. 構築システム .....	6
2.1 システム設計 .....	6
2.2 システム開発 .....	7
2.3 データベース作成 .....	8
2.3.1 データベース項目定義 .....	8
2.3.2 データベース作成 .....	9
2.4 システム操作手順 .....	11
2.4.1 加入目的からの検索 .....	11
2.4.2 約款DB検索 .....	16
2.4.3 保険ガイド検索 .....	20
2.4.4 保険用語検索 .....	30
3. プロトタイプ評価 .....	33
3.1 利用評価 .....	33
3.1.1 評価用紙集計 .....	33
3.1.2 評価用紙からの意見・感想 .....	37
3.2 プロトタイプの問題点と成果 .....	39
4. 今後について .....	39
4.1 課題 .....	39
4.2 効果 .....	40





# 生命保険商品情報データベースプロトタイプ構築

## 1 概要

### 1.1 目的

今日、消費者は保険会社が販売する保険内容の情報を入手する手段・方法は、制約されている。それは、保険業法および大蔵省の行政指導で、保険会社は、販売・募集上、保険商品や保険会社の各種比較販売を禁じられており、保険商品の内容（約款、保険料、保険金情報）を積極的に情報開示して来なかったという歴史によるものである。

こうした状況の中で、社会および金融・保険業界を取り巻く環境は日本版金融ビッグバンを契機として情報開示の要求は日々高まる傾向にある。

本システムは、この時代の要請に応えようとするもので、生命保険商品の商品情報、約款情報（テキスト文書、図、表）、用語情報を一般消費者の立場に立って電子化、データベース化し、インターネットで情報検索を行うシステムのプロトタイプ構築を行うものである。

これにより、利用者が自由な発想で商品内容を検索することができるデータベース・システム・サービスの実用化に寄与することを目的としている。

### 1.2 実施内容

#### 1.2.1 検索ルート

検索ルートは消費者向けの「加入目的からの検索」、「保険ガイド検索」、「保険用語検索」を設定し、保険知識を持っている人向けに「約款DB検索」を設定した。以下にそれぞれの検索ルートの説明をする。

##### (1) 加入目的からの検索

生命保険文化センターの資料から、一般的な加入目的（死亡保障、貯蓄、病気・ケガ、老後）と保険商品がその加入目的に対してしている保障項目から、最適な保険商品を検索し、その該当商品の特徴、仕組図、付加可能特約を紹介している。また、保険契約の内容確認のために約款情報も紹介している。

##### (2) 約款DB検索

一般消費者向けでなく、ある程度保険用語等を知っている人や約款内容を確認したい人が使う機能である。約款データベースで作られたインデックスファイルから約款文書のフリーワード検索ができる。フリーワードは直接入力する場合とインデックスファイルより選択する場合がある。該当するフリーワードがある場合、約款文書が一覧表示され、確認したい約款本文、別表情報が参照できる。

### (3) 保険ガイド検索

保険契約後のことについては「約款を読んでもください」ということで、あまり説明しないことが多い。この機能は純粋な検索とは違うかもしれない。しかし、約款の中でも特に読んで欲しい部分を抜粋しているしおりの部分を重要事項別に分けることで一般消費者が知りたい内容がわかるようになっていく。各重要事項は以下の通りである。

- 加入時注意事項
  - 1. 告知義務について
  - 2. 告知義務に違反したら
  - 3. 保障開始時期はいつから
  - 4. クーリングオフについて
- 保険料について
  - 5. 保険料の払込について
  - 6. 保険料の払込が困難になったときは・・・
  - 7. 保険料払込免除について
- 解約について
  - 8. 保険契約の解約について
- 配当について
  - 9. 配当について
- 保険契約について
  - 10. 契約内容変更
  - 11. 保障内容の見直し
  - 12. こんなとき、すぐに保険会社に連絡を
- 契約者貸付金制度について
  - 13. 契約者貸付
- 保険金について
  - 14. 保険金の支払
- 税金との関係について
  - 15. 生命保険料控除
  - 16. 生命保険にかかる税金
- 関連分野
  - 17. 公的個人年金

### (4) 保険用語検索

保険用語は一般に馴染みの薄い用語である。分からない言葉が出てきた場合、辞書では頭文字で調べる。同じように保険用語の頭文字を選択することで、その頭文字の用語説明が表示される。

## 1. 2. 2 コンテンツ作成

検索対象とするデータベースは、保険商品の特徴、仕組図、付加可能特約の情報を持つ商品説明データベースと条文NO、条文本文等の情報を持つ約款データベースを作成した。データベースは当社の製品である「Future/Happiness Light」（以降F/Hと呼ぶ）を使用した。

データベースは、テキスト文書をF/H用に編集し直し、F/Hのユーティリティでバッチ一括処理を行い登録した。

イメージ情報は約款中の障害の図解、各種例表、保険商品説明の保険商品仕組図、障害の図解をイメージ情報化した。

作成したコンテンツと量は表1-1のとおりである。

表1-1 作成コンテンツ一覧表

生命保険商品種類	商品説明	商品仕組図	約款本文	例表	障害図解	備考
無配当終身保険	1	1	1	5 5	注) 1	注) 同一物
終身保険	1	1				
連生終身年金保険	1	1	1	1 3 4	注) 1	
終身年金保険	1	1				
定期付養老保険	1	1				
養老保険	1	1	1	1 8	注) 1	
(付加特約)						
通院特約			1	1 4		
傷害特約			1	1 2		
疾病入院特約			1	1 4		
災害入院特約			1	8		
定期保険	1	1				
無配当定期保険	1	1				
無配当医療保険	1	1	1	1 4	注) 1	
3大成人病保障終身保険	1	1				
3大成人病保障定期保険	1	1				
進学保険	1	1				
貯蓄保険	1	1				
合計	1 3 文書	1 3 図	8 文書	2 6 9 図	注) 1 図	

### 1. 2. 3 開発環境

クライアントPCとUNIXサーバをLANで接続し開発環境を構築した。ソフトはサーバにSolaris 2.6、Webサーバ、F/H、C言語をインストールした。クライアント機はWindows 95または98でブラウザにInternet Explorer4.0またはNetscape Navigator4.5を使用し、イメージ入力システム、ワープロソフト、ftpソフトをインストールした。

### 1. 2. 4 開発体制

開発体制は、図1-1に示す体制、作業内容で実施した

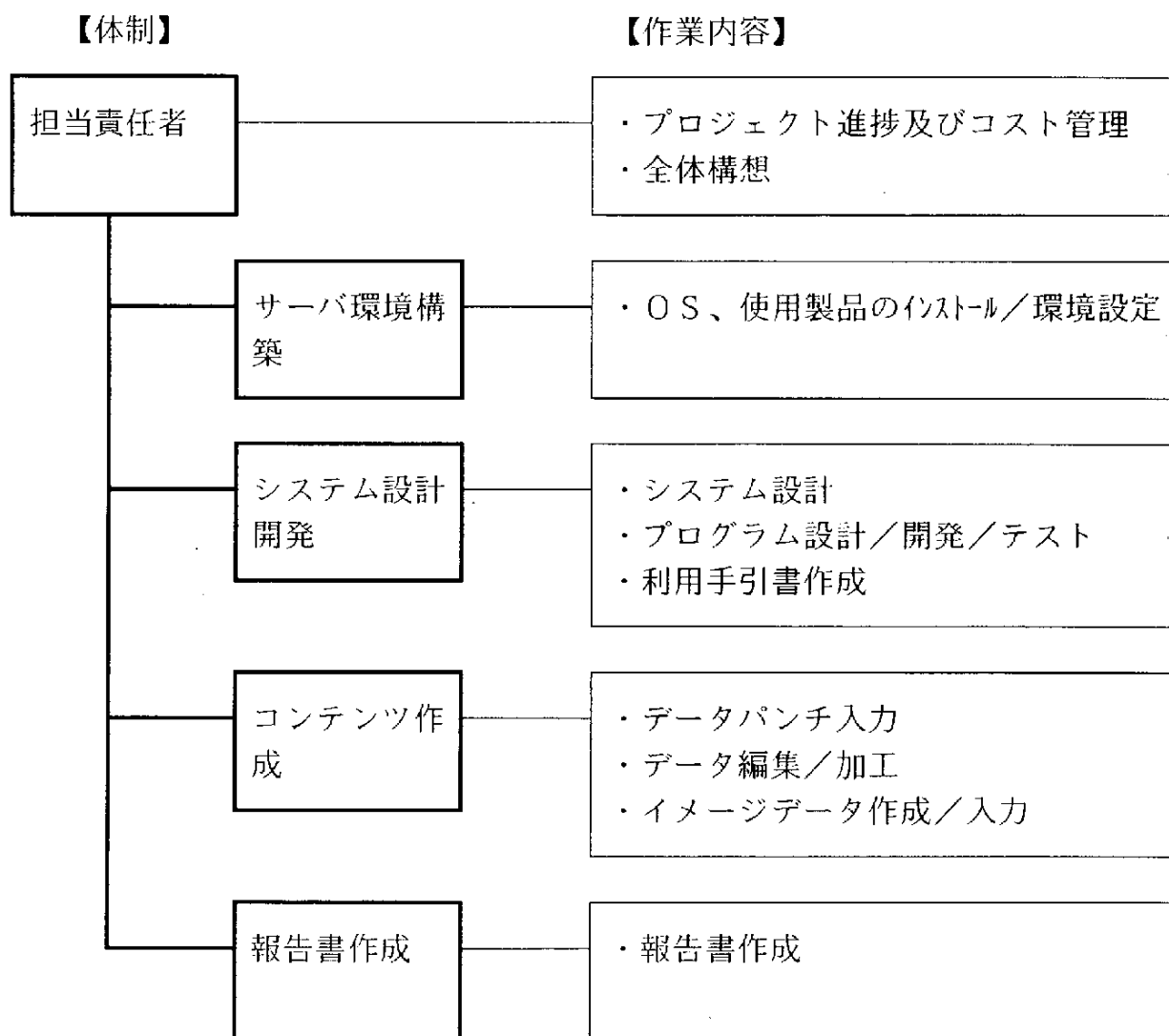


図1-1 開発体制

1. 2. 5 作業スケジュール

作業スケジュールは、表1-2で示すスケジュールで実施した。

表1-2 作業スケジュール

作業項目		平成10年						平成11年	
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
サーバ環境構築	予定		←--→						
	実績		←→						
コンテンツ作成	予定				←--→				
	実績				←→				
システム設計	予定		←--→						
	実績		←→						
システム開発	予定			←--→					
	実績			←→					
システムテスト	予定					←--→			
	実績					←→			
利用手引書	予定						←--→		
	実績						←→		
利用評価	予定							←--→	
	実績							←→	
報告書作成	予定								←--→
	実績								←→

## 2. 構築システム

### 2.1 システム設計

システムコンセプトとして一般消費者と保険をよく知っている人を想定し、前者への狙いは、最適な保険商品を紹介し、保険加入後の重要事項を理解させ、一般になじみの薄い保険用語を理解させることである。そのアプローチ方法は、保障内容からの最適な保険商品、付加情報、保険用語の紹介とした。後者は約款をフリーワードで検索することで検索のスピードアップ化を図った。

それぞれのコンセプトに従い「加入目的からの検索」、「保険ガイド検索」、「保険用語検索」、「約款データベース検索」の検索ルート设计了。検索ルートとコンセプトとの関係は表2-1にまとめた。

表2-1 検索ルート設計一覧表

検索ルート	利用者／狙い	アプローチ	検索項目	コンテンツ
加入目的からの検索	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般消費者</li> <li>・最適な保険商品紹介</li> </ul>	保障内容	保険種類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商品説明データベース</li> <li>・約款データベース</li> <li>・仕組図</li> <li>・障害の図解</li> <li>・例表</li> </ul>
約款データベース検索	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保険知識に詳しい人</li> <li>・約款のフリーワード検索</li> </ul>	フリーワード	キーワード	<ul style="list-style-type: none"> <li>・約款データベース</li> <li>・障害の図解</li> <li>・例表</li> </ul>
保険ガイド検索	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般消費者</li> <li>・付加情報理解</li> </ul>	付加情報	ガイド集	
保険用語検索	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般消費者</li> <li>・保険用語理解</li> </ul>	保険用語	保険用語集	

## 2. 2 システム開発

「加入目的からの検索」では、F/Hの関連検索機能を使い画面メニュー定義体とCGIスクリプトのカスタマイズを行った。その開発は加入目的と保障内容を選ぶ画面から保障内容をキーワードにして商品説明データベースの保障内容と一致している保険商品を表示する仕組みを作っている。なお、保障内容は日本語項目同士で比較している。商品データベース結果一覧画面では商品コードをキーワードにして検索し、商品説明を表示している。そこで約款参照ボタンをクリックされた場合も商品コードをキーワードにして約款データベースを参照し、該当商品コードの約款データベースを表示する。約款条文がクリックされたら同じ商品コードをキーワードにして約款データベースを参照し、該当商品コードの約款本文を表示する。また、約款は本文と別表に分かれており約款詳細画面より別表情報にリンクするようにアンカータグが設定されている。そして、各別表情報からも障害の図解、例表のイメージ情報へのアンカータグが設定されている。

画面メニュー定義体のカスタマイズはF/Hのラインモード用メニュー定義体にHTMLのタグを付加し、F/HのCGIスクリプトのデータベース名の編集を行っている。

「約款DB検索」はF/Hの論理演算子や括弧と組み合わせて自分で条件式を組み立てて検索する条件式検索とデータベース登録されることに作成されるindex項目かフリーワード入力するフリーターム検索から実現を図った。約款DB一覧画面以降は「加入目的からの検索」と同じ方法である。

「保険ガイド検索」は選ばれた保険ガイド内容にアンカータグが設定されており、該当の保険ガイド詳細HTML文書が表示される仕組みになっている。

「保険用語検索」はHTML文書から作成されており、同じHTML文書の中にジャンプさせたいアンカータグの設定を行って実現している。

## 2. 3 データベース作成

### 2. 3. 1 データベース項目定義

データベース項目定義は表2-2で示すとおりである。

今回はプロトタイプであり、データベース構造は単純な構造になっている。しかし、保障内容項目をどのような構造にするかによって検索プログラムを変更しなければならない。今回は保険商品データベースの保障内容項目を複数のキーワードで持てるようにすることで、複数の保障内容から複数の保険商品が該当するようにできるようにした。仮に持てない場合、1つの保障内容で1つの保険商品しか該当しない結果になる。

表2-2 構築データベース項目一覧表

データベース名	項目名	個数	日本語名	属性	長さ(バイト)	検索対象
約款 データベース	kaisyan	—	会社名	日本語	200	キーワード
	syohien	—	商品コード	英数字	7	
	syohinn	—	商品名	日本語	200	
	reihyo	—	例表	英数字	100	
	omidasi	—	大見出し	日本語	200	
	gmidasi	—	条文見出し	日本語	200	
	gno	—	条文NO	日本語	20	
	ghonbun	—	条文本文	日本語	64000	
商品説明 データベース	kaisyan	—	会社名	日本語	200	キーワード
	syohien	—	商品コード	英数字	7	
	syohinn	—	商品名	日本語	200	
	syohinex	—	商品説明	日本語	64000	
	syohinzu	—	商品図	英数字	100	
	hosyo	—	保障内容	日本語	64000	マルチワード



## 2. 3. 2 データベース作成

データベース作成は約款、商品説明テキスト文書をF/H仕様に変更して、サーバ環境化でF/Hのユーティリティでデータベース一括変換を行う。

テキスト文書をF/H仕様への変更仕様はテキスト文書(図2-1参照)をデータベース項目間をデリミタ(約款登録文書のデリミタは\_を使用)で区切り、改行(¥n)までを1レコードで設定する。1レコード内での変更は、F/Hの機能制限から、単語中にスペースが存在するとキーワードが正しく抽出されないので、単語中のスペースをすべて削除する。しかし、単語外のスペースに関しては問題はない。先にも記述したとおり、F/Hは改行(¥n)までを1レコードと認識するので、テキスト内の改行(¥n)を削除する。段落等で改行したい場合は↓を挿入する。(図2-2参照)ただし、単語中に↓を挿入するとキーワードが正しく抽出されないので気を付ける。

### 無配当医療保険 普通保険約款目次 (¥n)

(¥n)

この保険の内容 (¥n)

#### 1. 会社の責任開始期 (¥n)

第1条 会社の責任開始期 (¥n)

#### 2. 給付金および保険金の支払 (¥n)

第2条 給付金の支払 (¥n)

第3条 保険金の支払 (¥n)

#### 3. 保険金等の請求・支払の時期および場所 (¥n)

第4条 保険金等の請求・支払の時期および場所 (¥n)

#### 4. 保険料の払込免除 (¥n)

第5条 保険料の払込免除 (¥n)

第6条 保険料の払込免除をしない場合 (¥n)

第7条 保険料払込免除の請求 (¥n)

#### 5. 契約の無効および解除 (¥n)

第8条 詐欺による無効 (¥n)

第9条 告知義務 (¥n)

第10条 告知義務違反による解除 (¥n)

第11条 契約を解除できない場合 (¥n)

第12条 重大事由による解除 (¥n)

・  
・  
・

図2-1 約款テキスト文書の例

○×生命保険株式会社\_0400009\_無配当医療保険\_/hoken/040000901.html\_普通保険約款\_この保険の内容\_目次\_無配当医療保険 普通保険約款目次↓1. 会社の責任開始期↓第1条 会社の責任開始期↓2. 給付金および保険金の支払↓第2条給付金の支払↓第3条 保険金の支払↓3. 保険金等の請求・支払の時期および場所↓第4条保険金等の請求・支払の時期および場所↓4. 保険料の払込免除↓第5条 保険料の払込免除↓第6条 保険料の払込免除をしない場合↓第7条 保険料払込免除の請求↓5. 契約の無効および解除↓第8条 詐欺による無効↓第9条 告知義務↓第10条 告知義務違反による解除↓第11条 契約を解除できない場合↓第12条 重大

金↓第32条 契約者配当金↓19. 請求手続↓第33条 請求手続↓20. 契約内容の登録↓第34条 契約内容の登録↓21. 管轄裁判所↓第35条管轄裁判所↓22. 時効↓第36条 時効↓23. 特則↓第37条 更新契約の特則↓第38条 法人契約の特則↓第39条 特別条件をつける場合の特則↓(備考)↓「別表1」1) 高度障害保険金の支払の対象となる高度障害状態↓2) 保険料払込免除の対象となる身体障害の状態↓(備考)↓(障害の図解)↓「別表2」対象となる不慮の事故↓「別表3」入院、病院または診療所↓「別表4」対象となる手術および手術給付金額表↓「別表5」特定疾病・部位一覧表↓「別表6」無配当医療保険Ⅱ 解約払戻金額例表(¥n)

○×生命保険株式会社\_0400009\_無配当医療保険\_/hoken/040000901.html\_普通保険約款\_会社の責任開始期\_第1条\_会社は、次の時から保険契約(以下「契約」といいます。)上の責任を負います。↓1) 契約の申込を承諾した後に第1回保険料を受け取った場合↓-----第1回保険料を受け取った時↓2) 会社所定の領収証をもって第1回保険料相当額を受け取った後に契約の申込↓を承諾した場合↓-----第1回保険料相当額を受け取った時(被保険者に関する告知前に受け取った場合には、その告知の時)↓2. 前項の規定による会社の責任開始の日を契約日とし、保険期間はその日を含めて計算します。↓3. 会社が契約の申込を承諾した場合には、書面をもって通知します。ただし、保険証券の交付をもって承諾の通知にかえることがあります。(¥n)

図2-2 F/H仕様のテキスト文書の例

## 2. 4 システム操作手順

### 2. 4. 1 加入目的からの検索

(1) 初期メニューとして図2-3が表示され、保障内容を選択し、[検索実行] ボタンをクリックすると、商品DB検索結果一覧画面(図2-4)が表示されます。

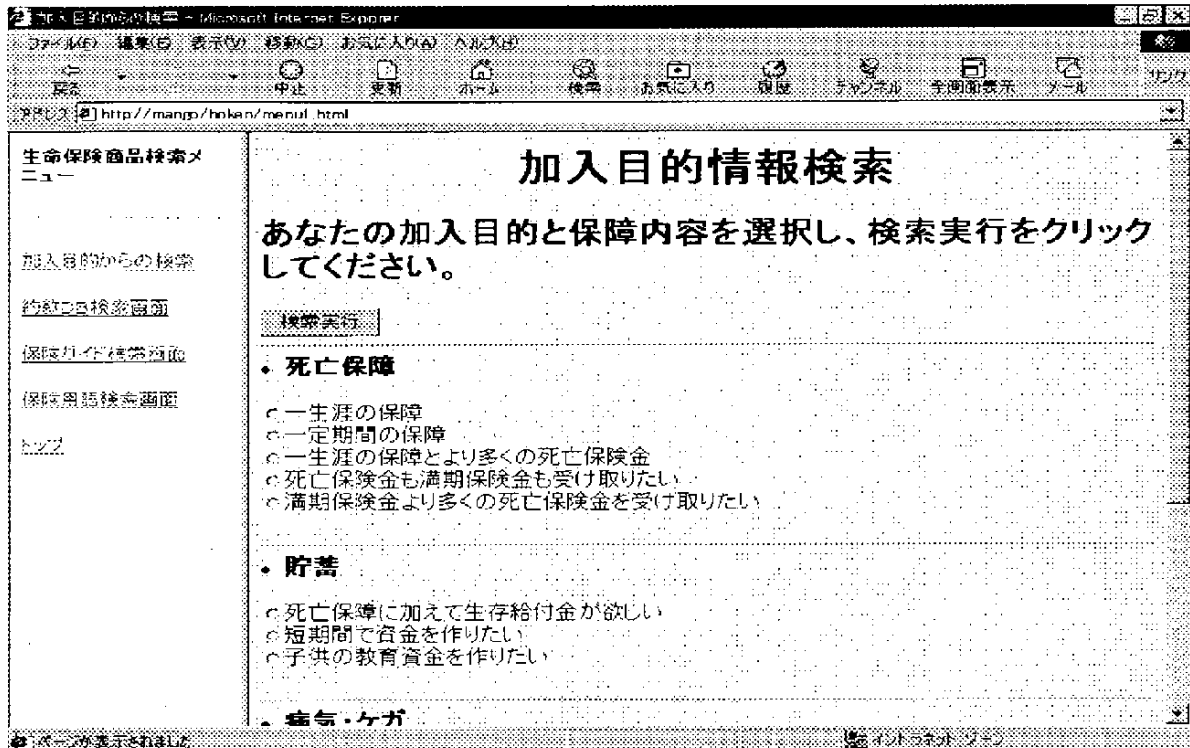


図2-3 加入目的情報検索画面

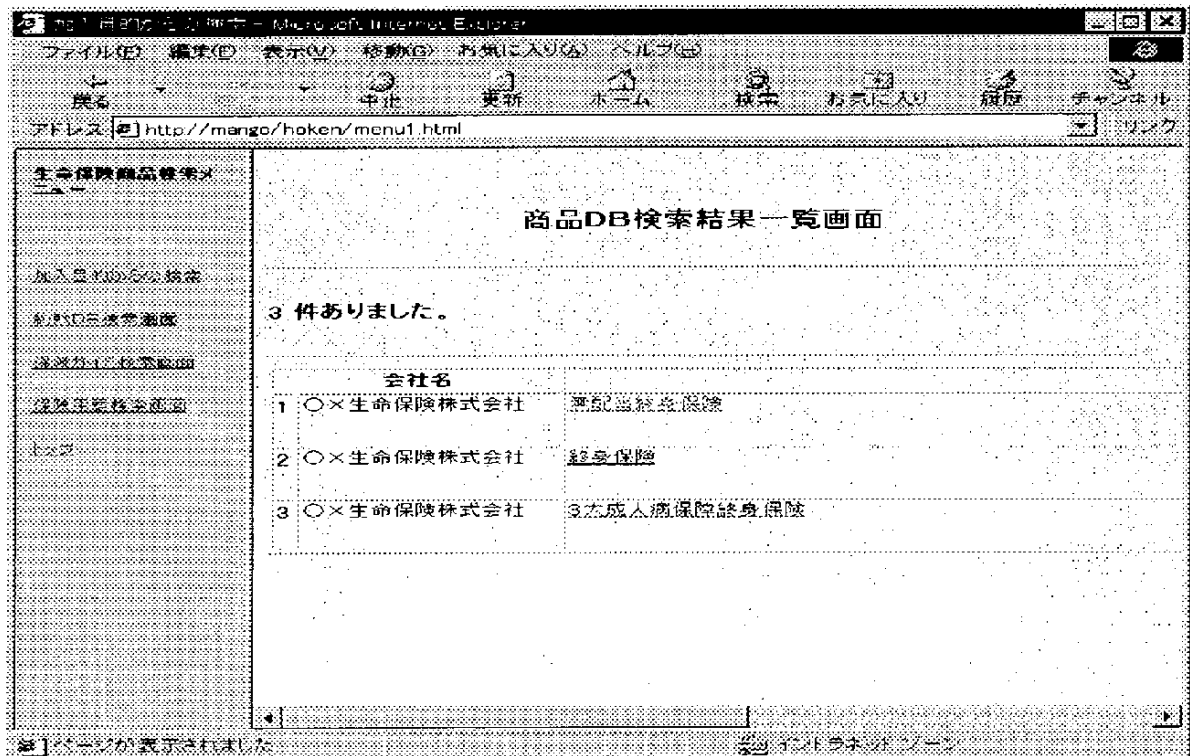


図2-4 商品DB検索結果一覧画面

(2) 商品DB検索結果一覧画面(図2-4)で保険商品をクリックすると、商品DB詳細画面(図2-5)が表示されます。

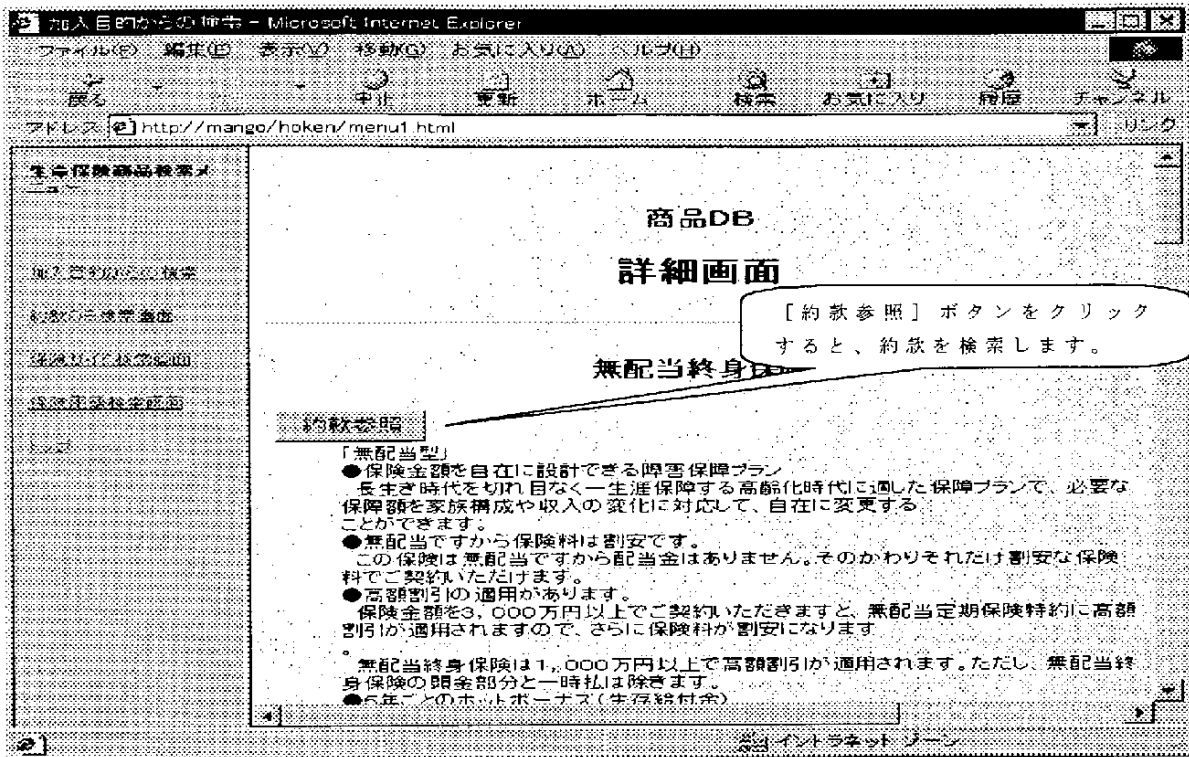


図2-5 商品DB詳細画面

(3) 商品DB詳細画面(図2-5)から[約款参照]ボタンをクリックすると、約款DB検索結果一覧画面(図2-6)が表示されます。

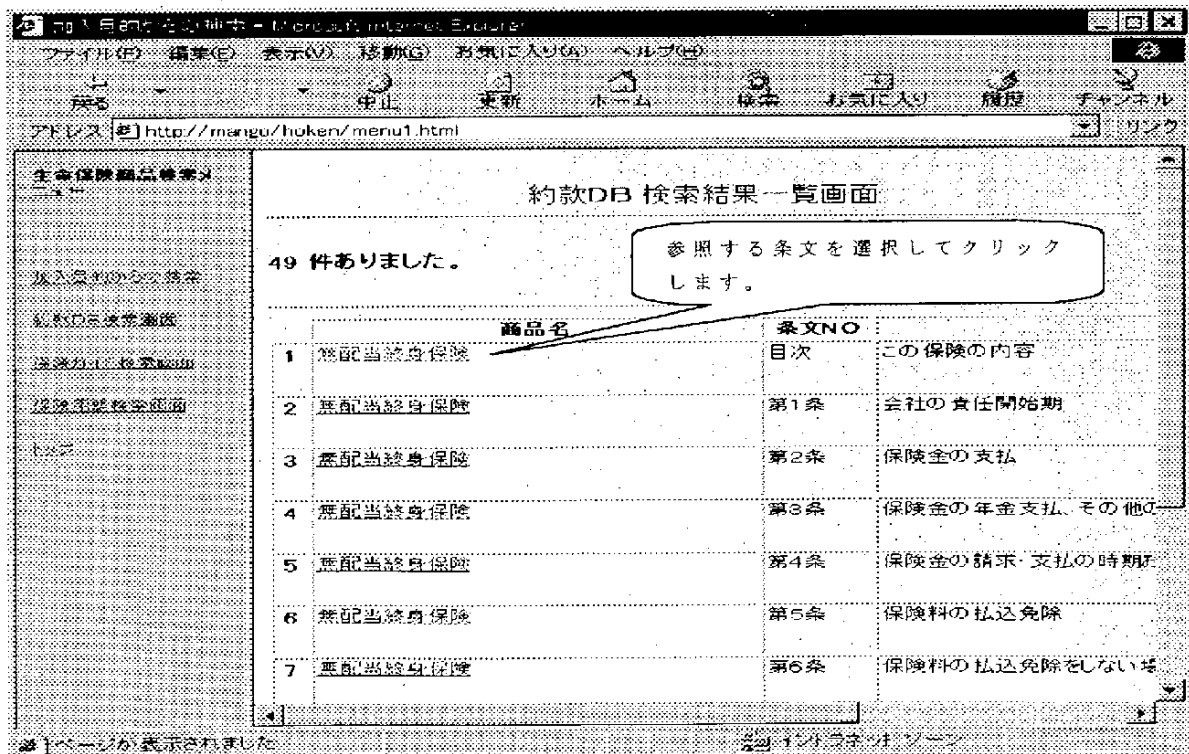


図2-6 約款DB検索結果一覧画面

(4) 約款DB検索結果一覧画面(図2-6)から商品名をクリックすると約款DB詳細画面(図2-7)が表示されます。

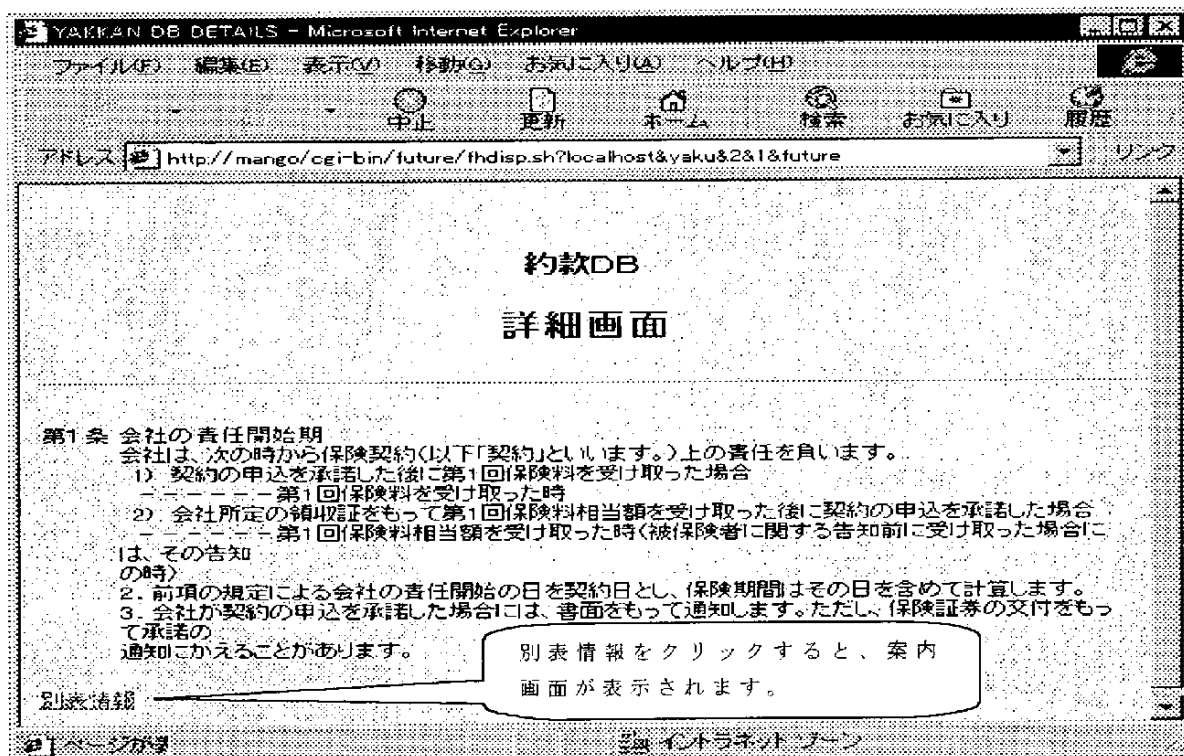


図2-7 約款DB詳細画面

(5) 約款DB詳細画面(図2-7)で別表情報をクリックすると、別表情報画面(図2-8)が表示されます。

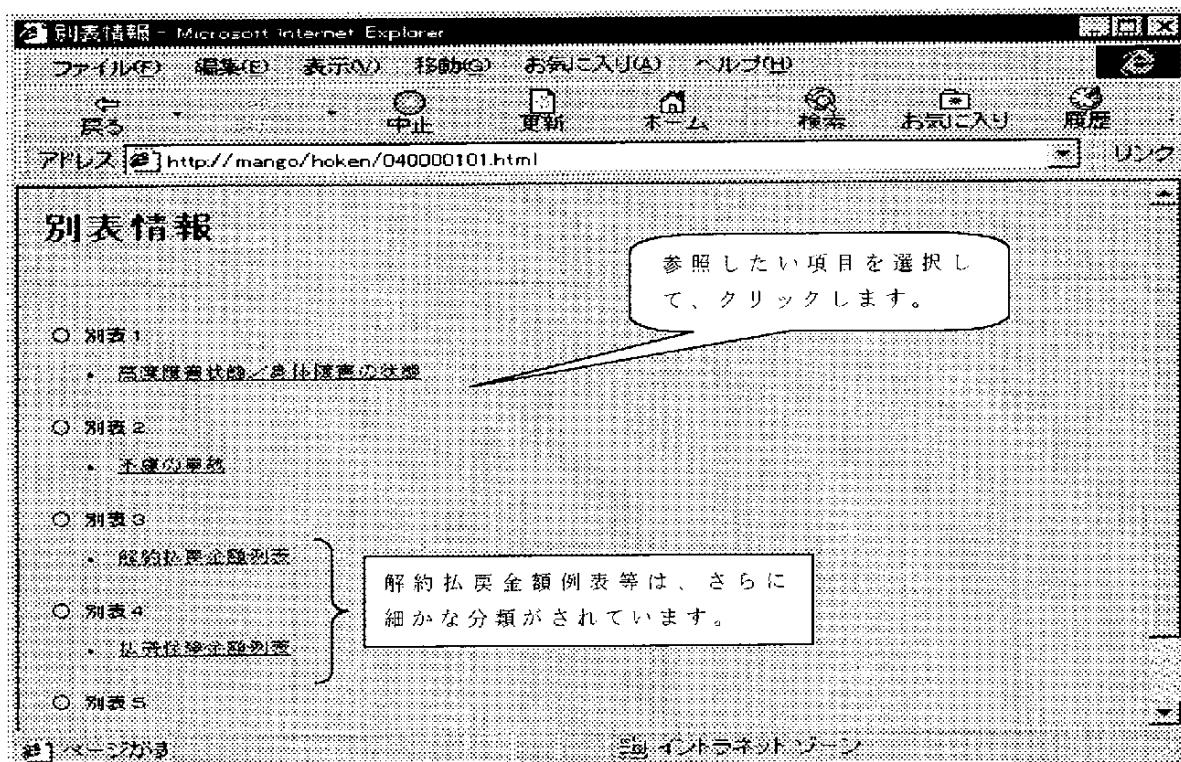


図2-8 別表情報画面

(6) 別表情報画面(図2-8)から高度障害状態/身体障害の状態等の説明の別表情報をクリックすると図2-9の例にある画面が表示されます。

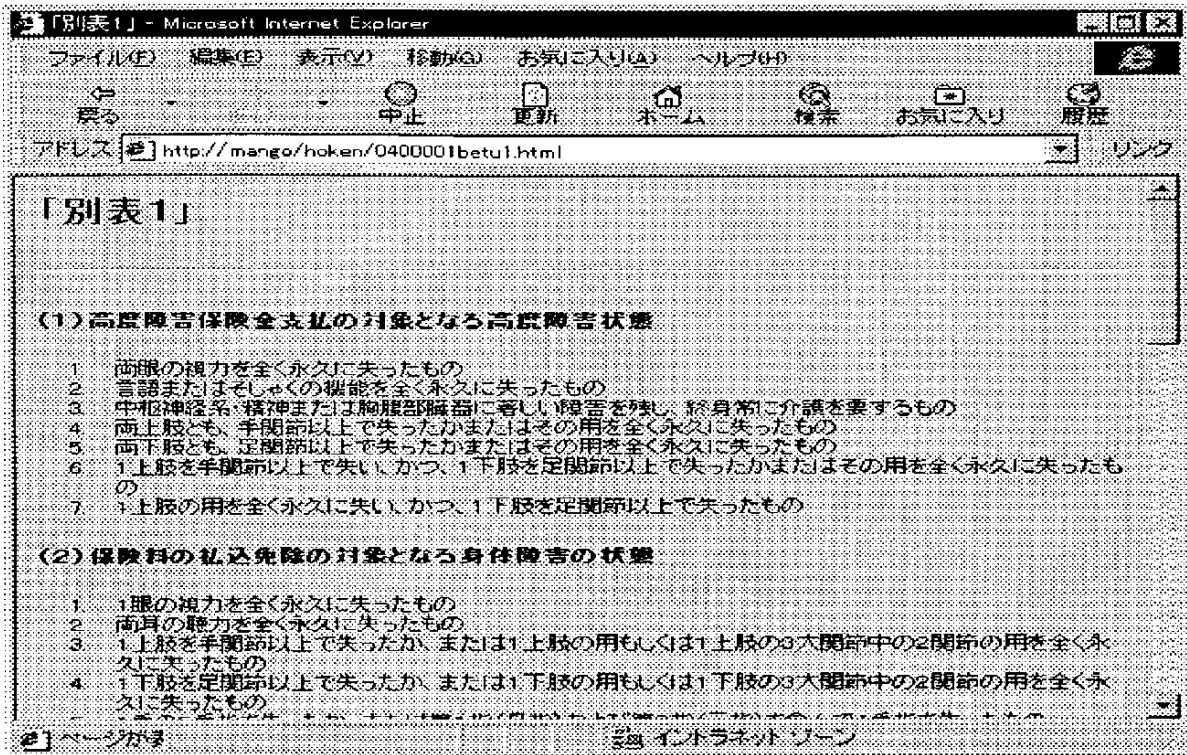


図2-9 別表情報(例 高度障害状態/身体障害の状態)

(7) 別表情報画面(図2-8)から解約払戻金額列表等をクリックされた場合、図2-10の例にある画面が表示されます。

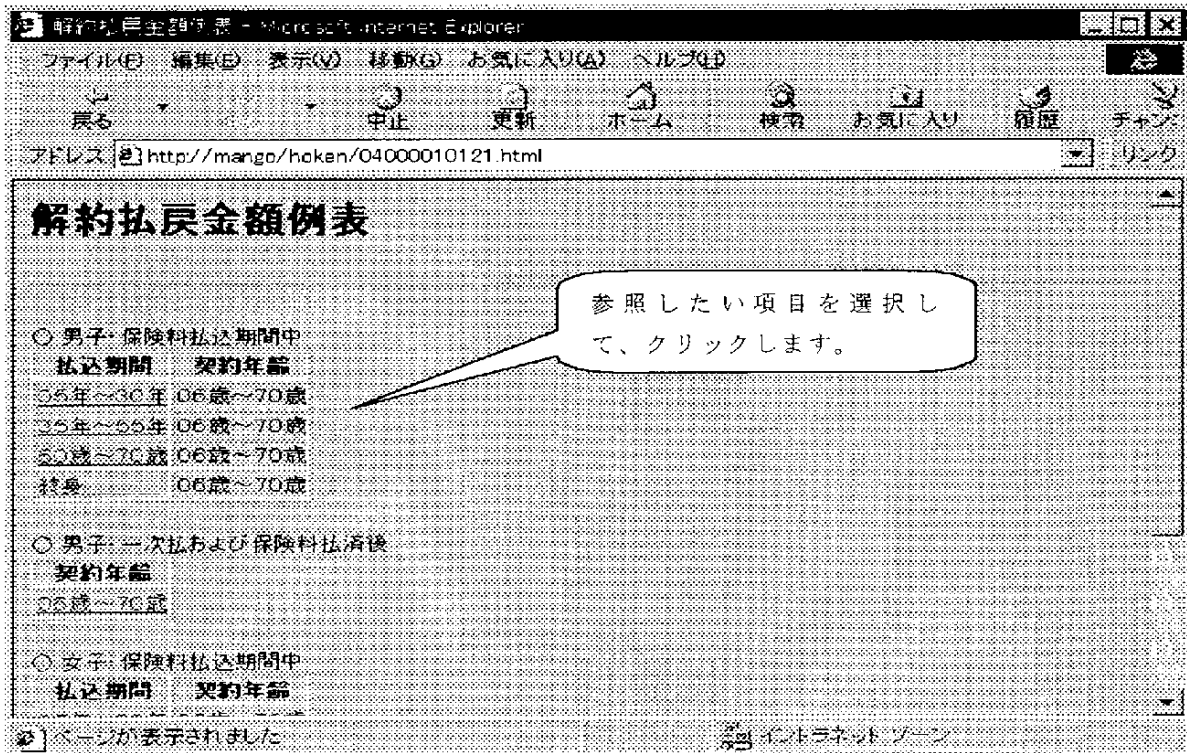


図2-10 別表情報(例 解約払戻金額列表)

(8) 解約払戻金額例表情報画面(図2-10)で、払込期間、契約年齢等をクリックすると、解約払戻金額例表(図2-11)が表示されます。

The screenshot shows a web browser window with the following details:

- Address Bar: <http://mango.token/img/040000/010137.jpg>
- Page Title: 解約払戻金額例表
- Table Content: A large table with approximately 10 columns and 20 rows of numerical data. The columns represent different variables or scenarios, and the rows show the resulting payout amounts.

図2-11 解約払戻金額例表

## 2. 4. 2 約款DB検索

- (1) 初期メニューとして図2-12が表示され、条件式かフリータームを入力します。フリータームは画面下にスクロールすることでキーワード入力ができます。(参照画面は図2-13)

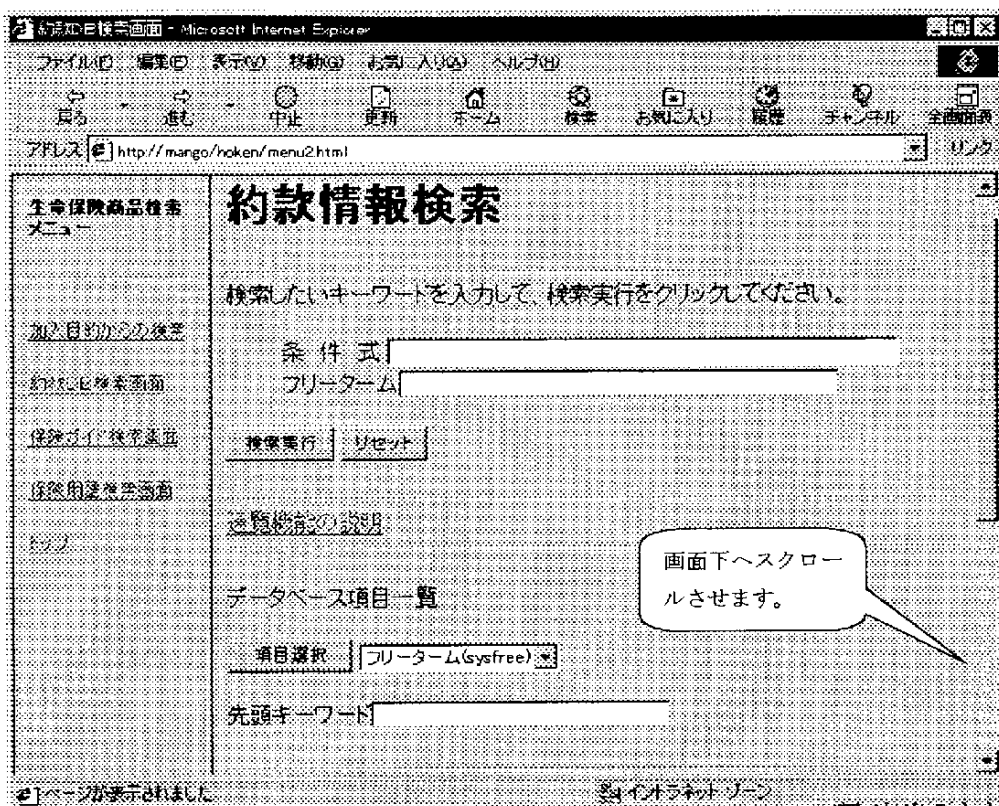


図2-12 約款情報検索画面



(2) 「フリーターム項目 用語一覧」から用語を選択し、「用語選択」ボタンをクリックします。

\* [次頁] ボタンをクリックすると、「フリーターム項目 用語一覧」の次頁が表示されます。

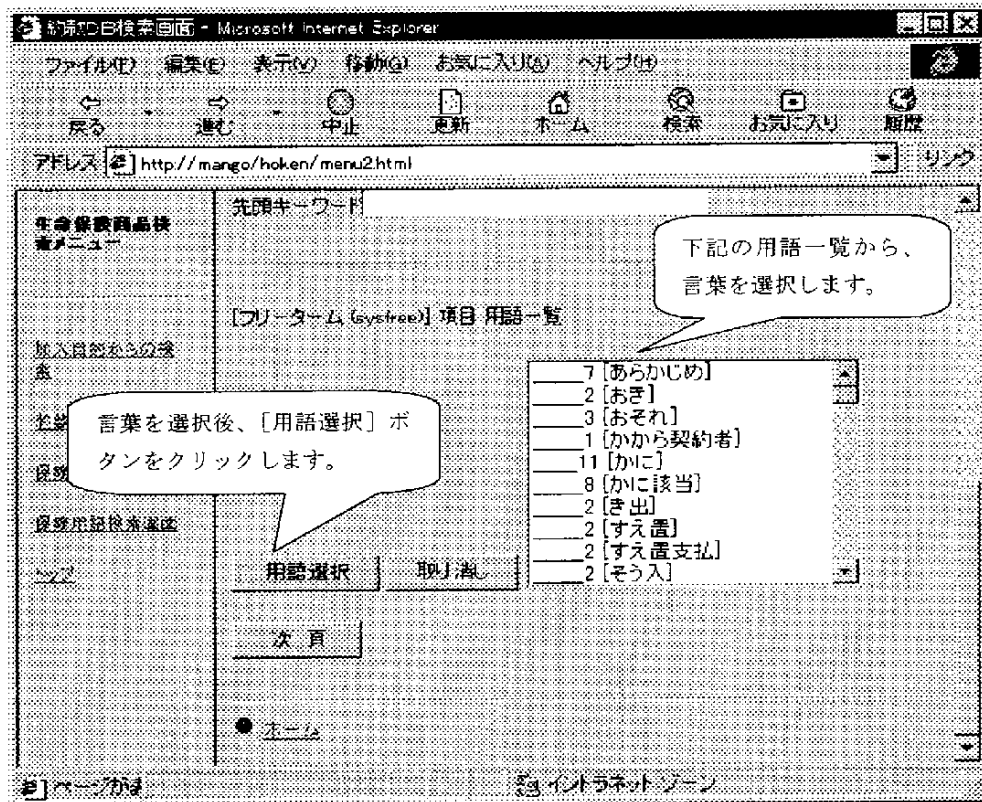


図 2-13 約款情報検索画面

- (3) 「フリーターム」内に用語が入力されたのを確認して、[検索実行] ボタンをクリックします。(図2-14参照)

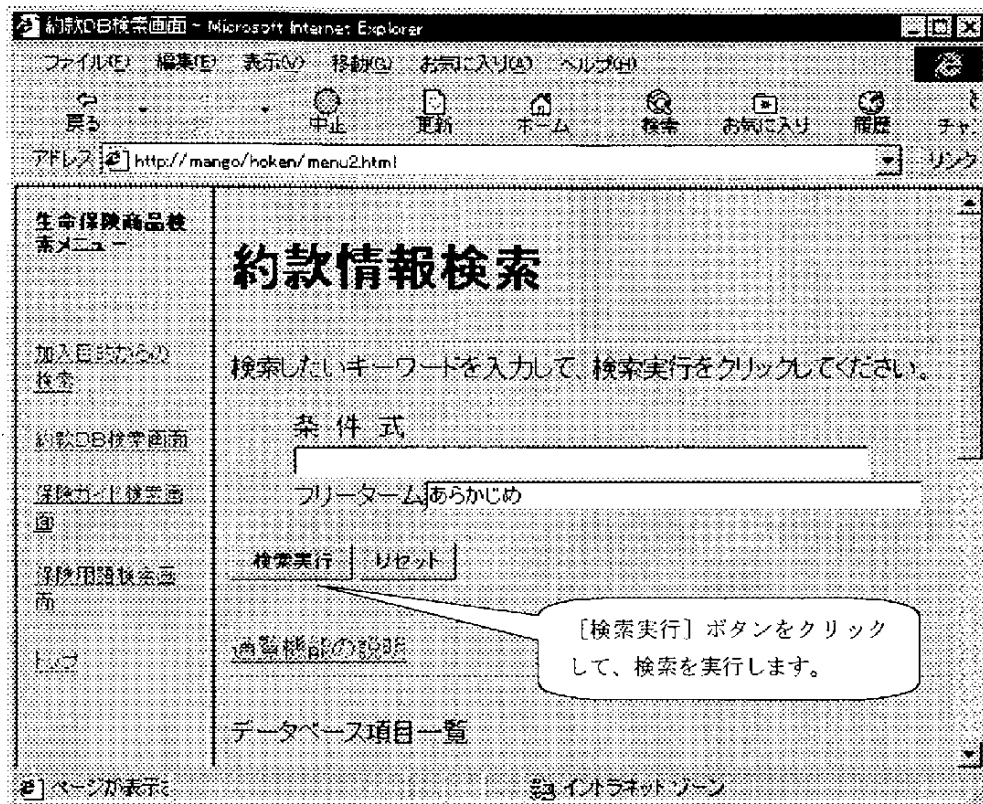


図2-13 約款情報検索画面

(4) 約款DB検索結果一覧画面(図2-15)が表示されます。

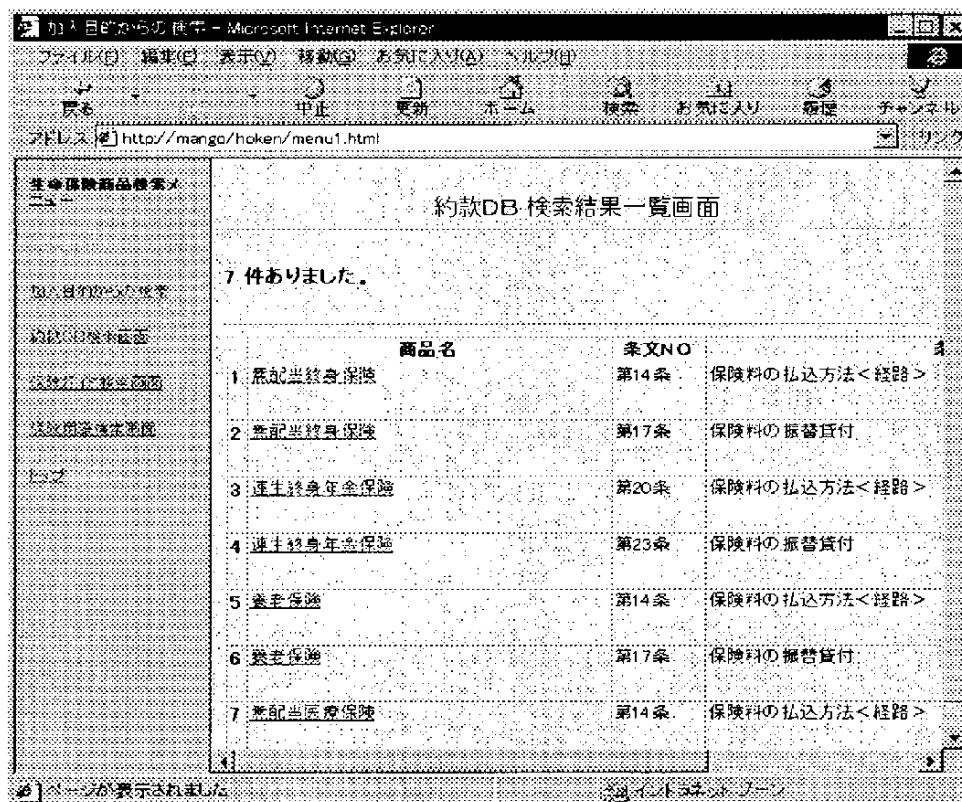


図2-15 約款DB検索結果一覧画面

(5) (4)以降の操作手順は2.4.1加入目的からの検索を参照して下さい。

### 2. 4. 3 保険ガイド検索

(1) 初期メニューとして図2-16が表示される。画面内容に従って、1から17の中で参照する項目をクリックすると、図2-17～図2-33の画面が表示されます。

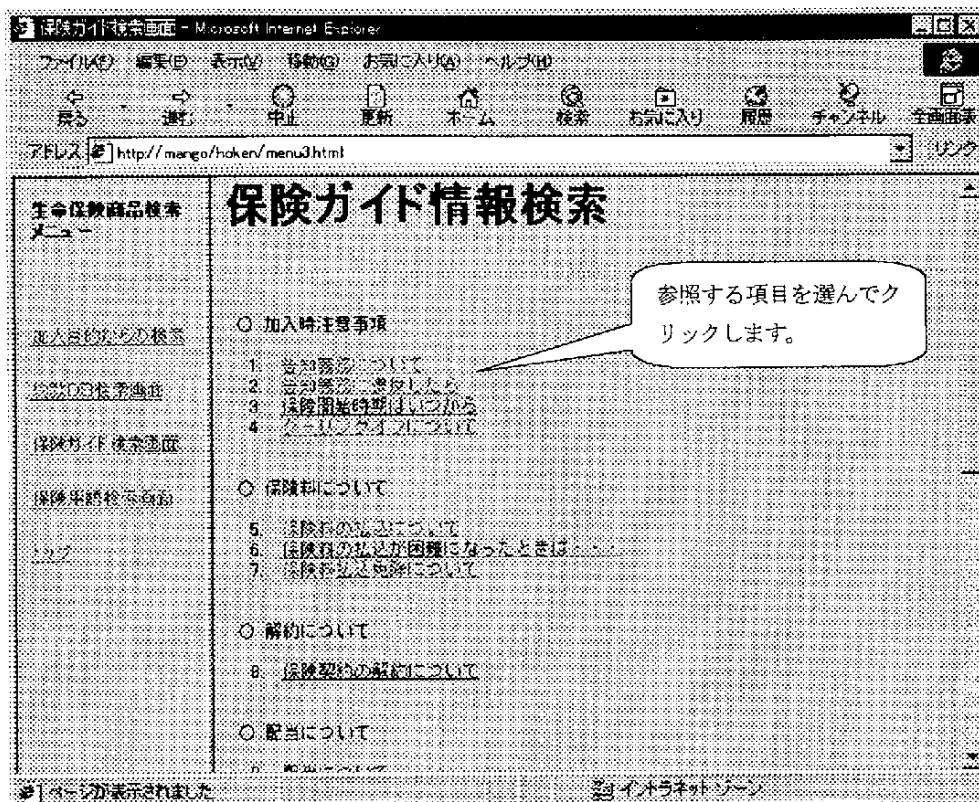


図2-16 保険ガイド情報検索画面

[告知義務について]

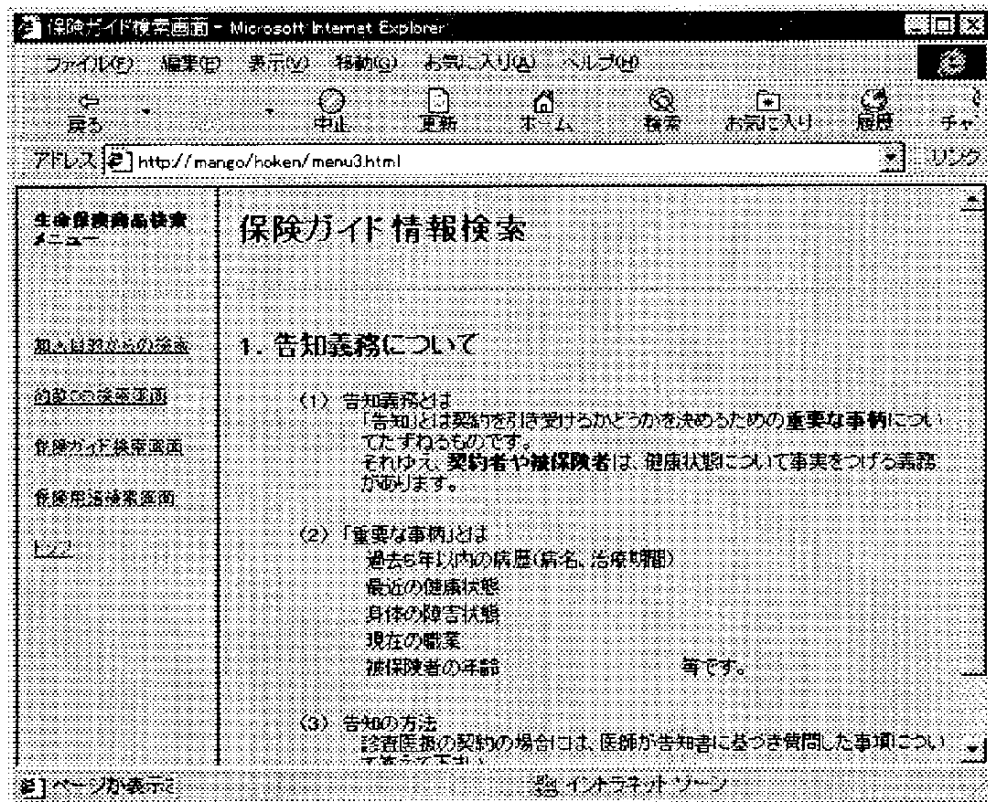


図 2 - 1 7

[告知義務に違反したら]

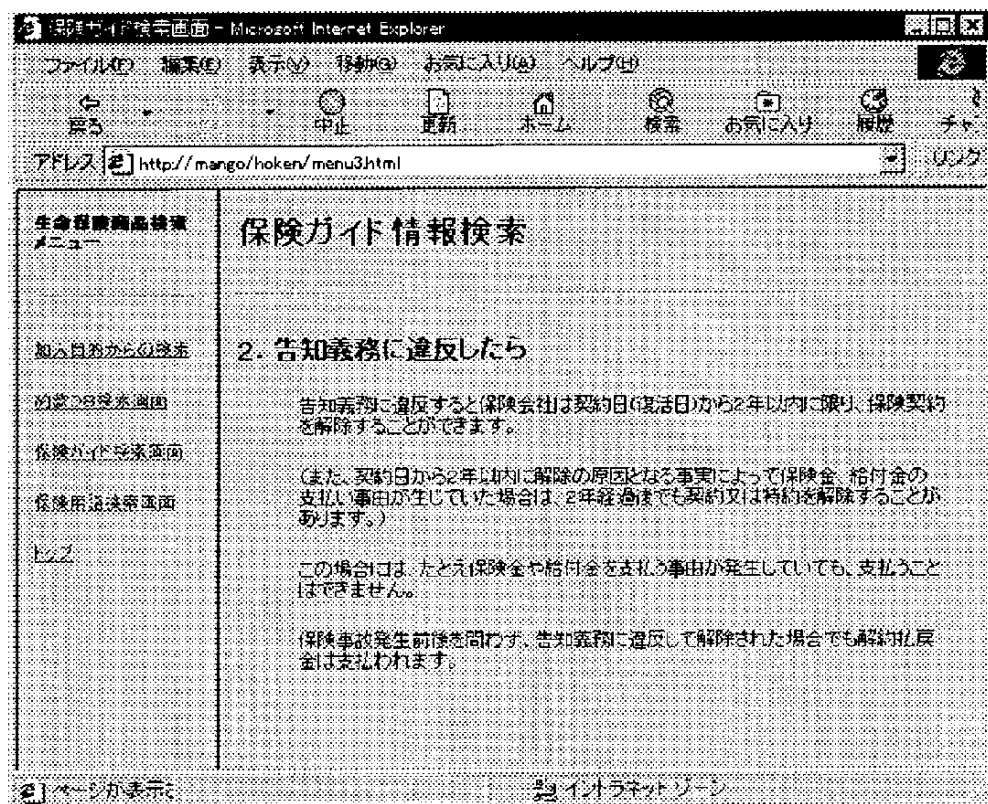


図 2 - 1 8

[保障開始時期はいつから]

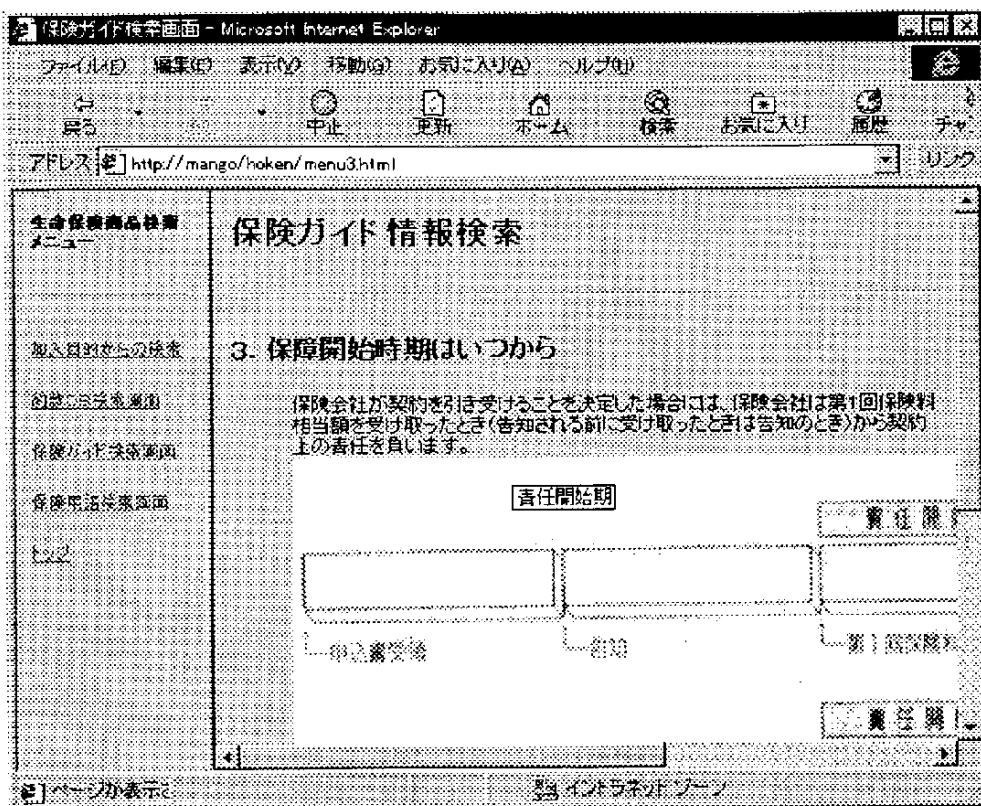


図 2 - 1 9

[クーリングオフについて]

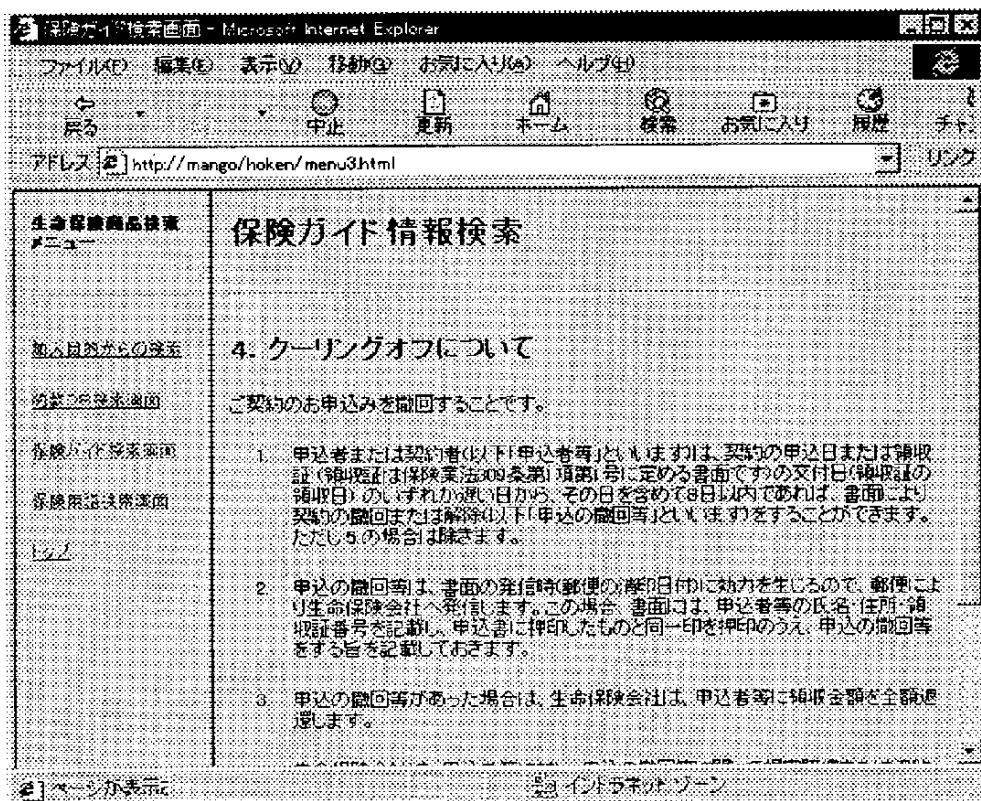


図 2 - 2 0

[保険料の払込について]

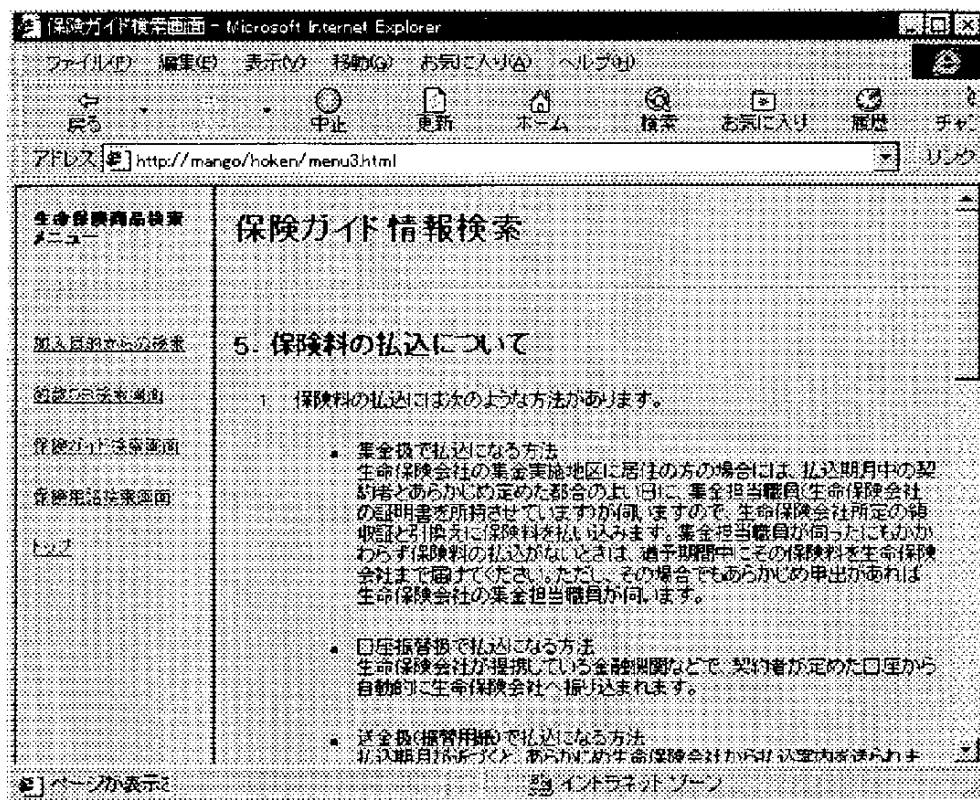


図 2 - 2 1

[保険料の払込が困難になったときは...]

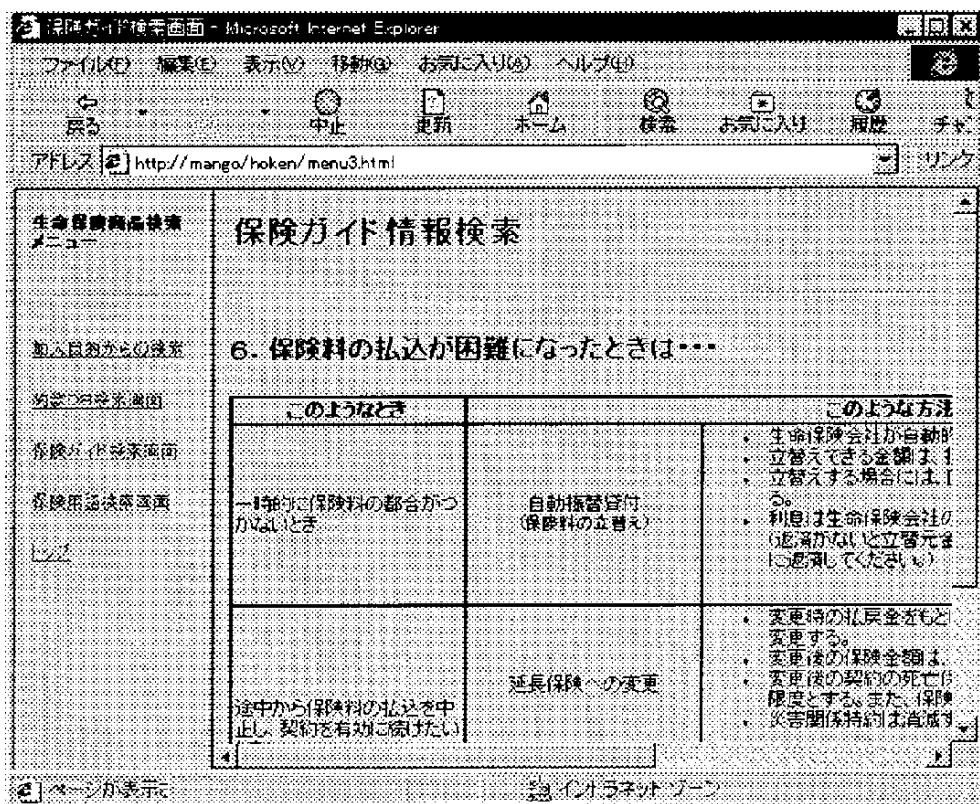


図 2 - 2 2

[保険料払込免除について]

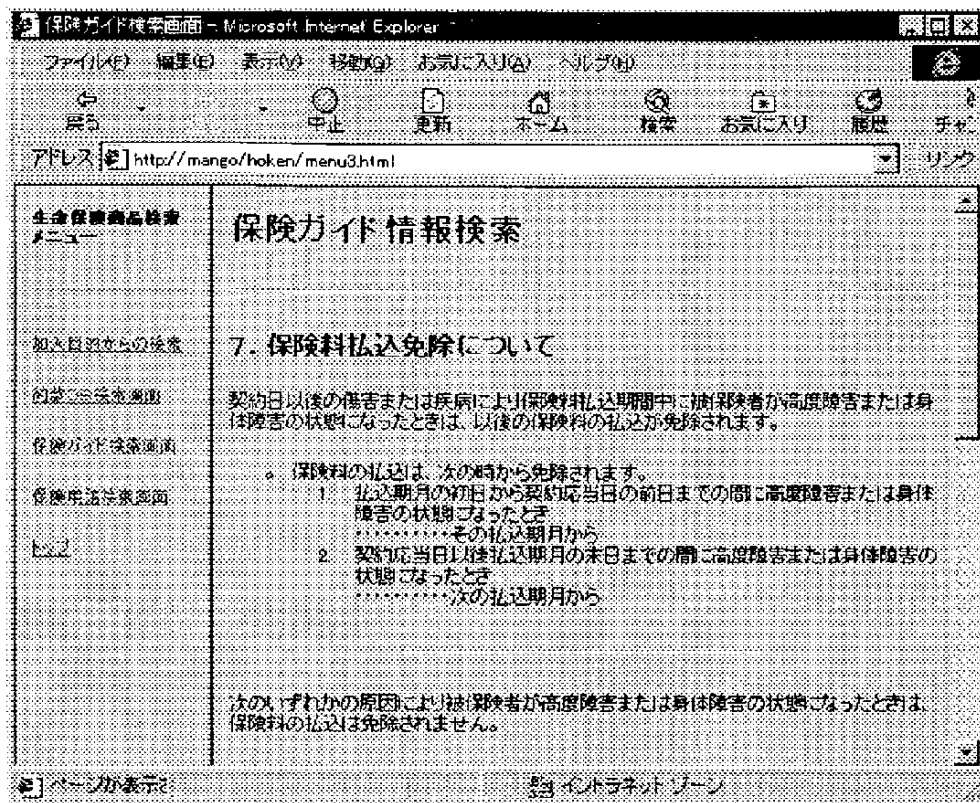


図 2 - 2 3

[保険契約の解約について]

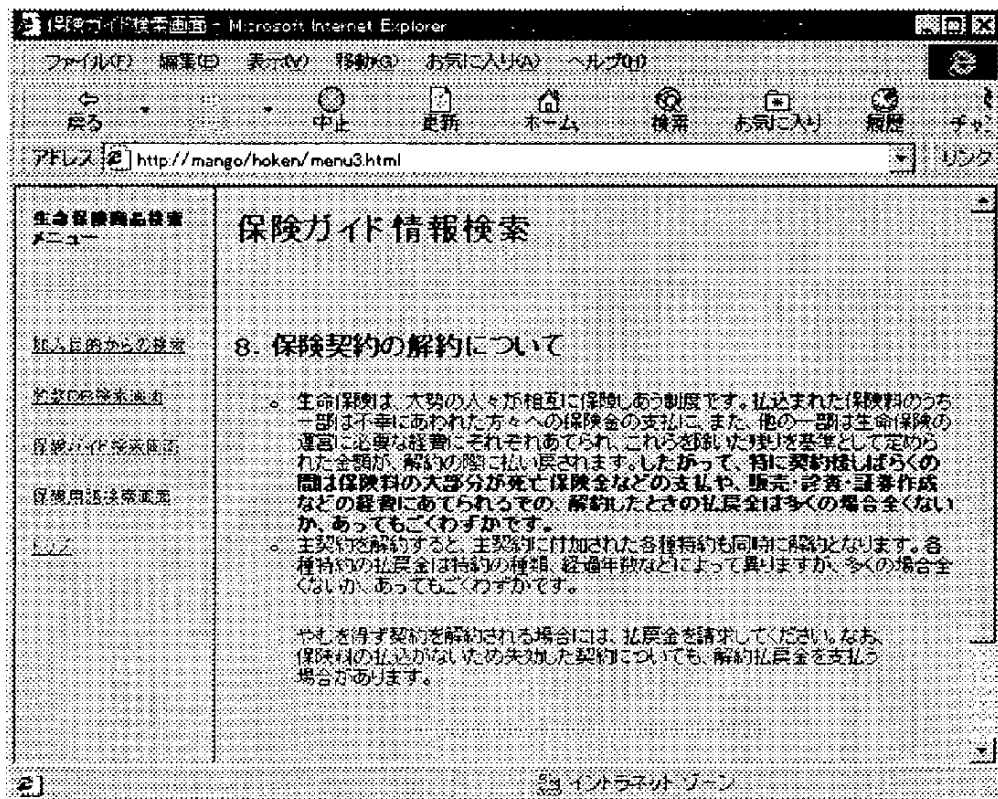


図 2 - 2 4



[配当について]

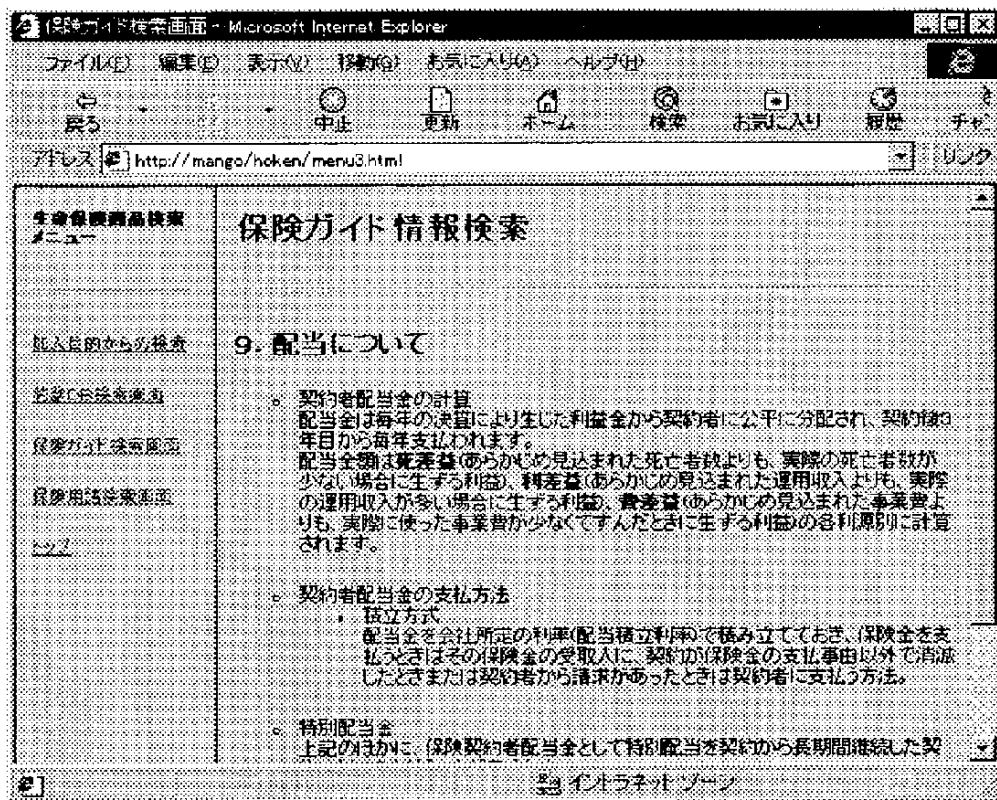


図 2 - 2 5

[契約内容変更]

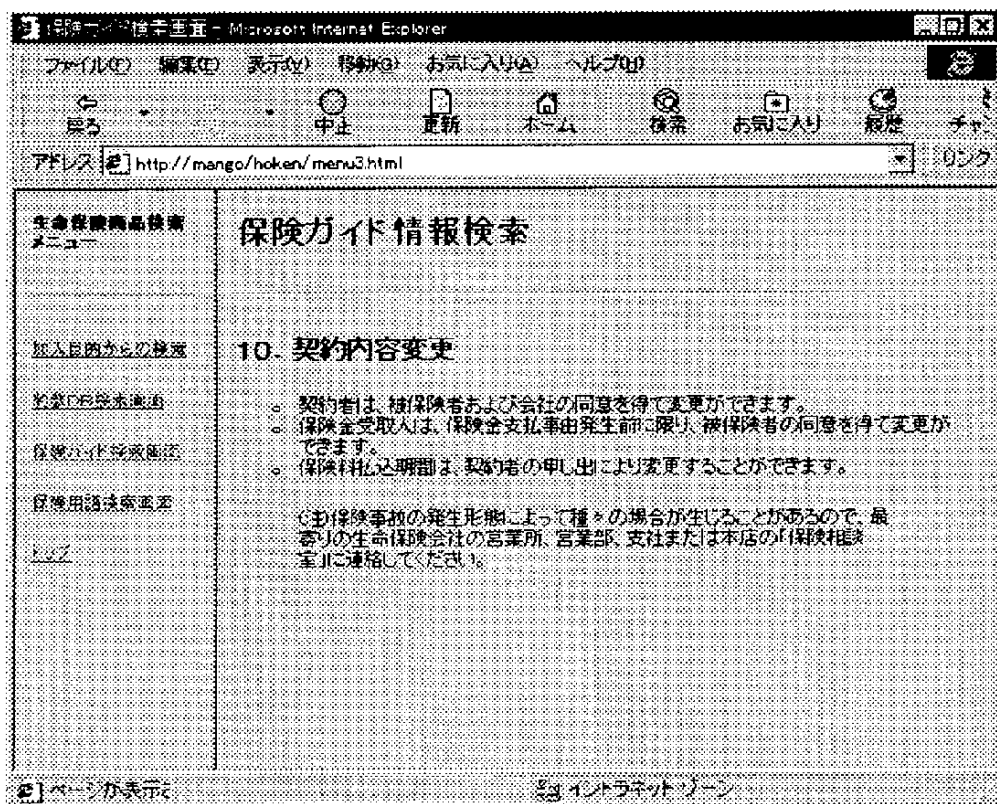


図 2 - 2 6

[保障内容の見直し]

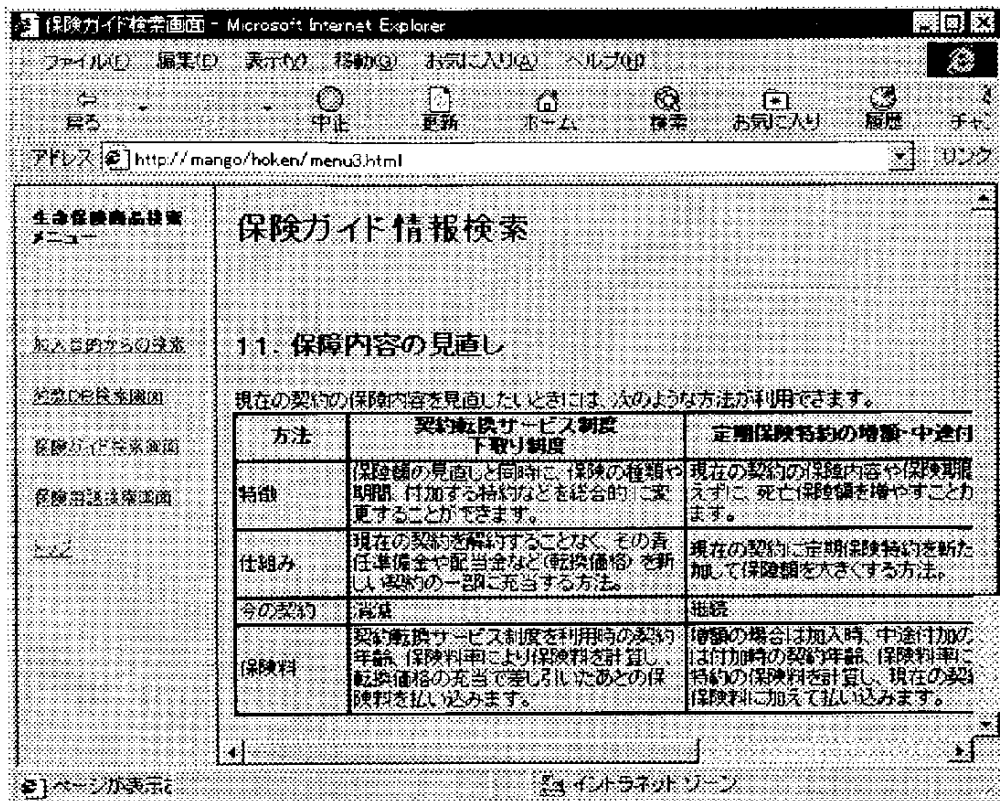


図 2 - 2 7

[こんなとき、すぐに保険会社に連絡を]

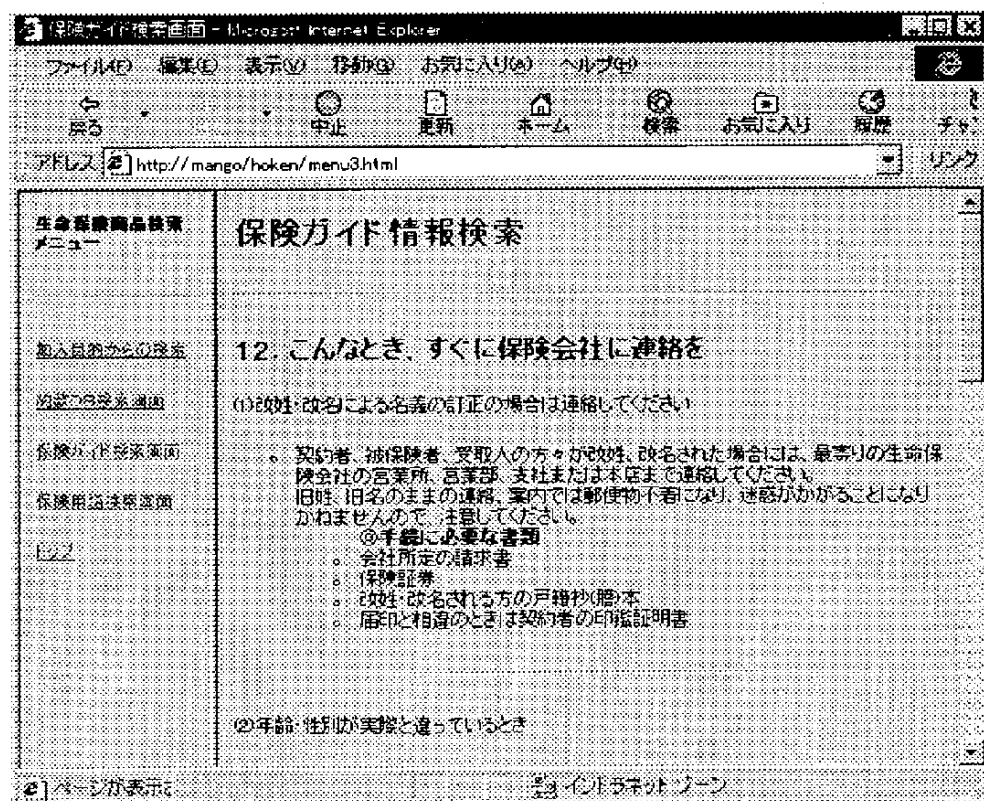


図 2 - 2 8

[契約者貸付]

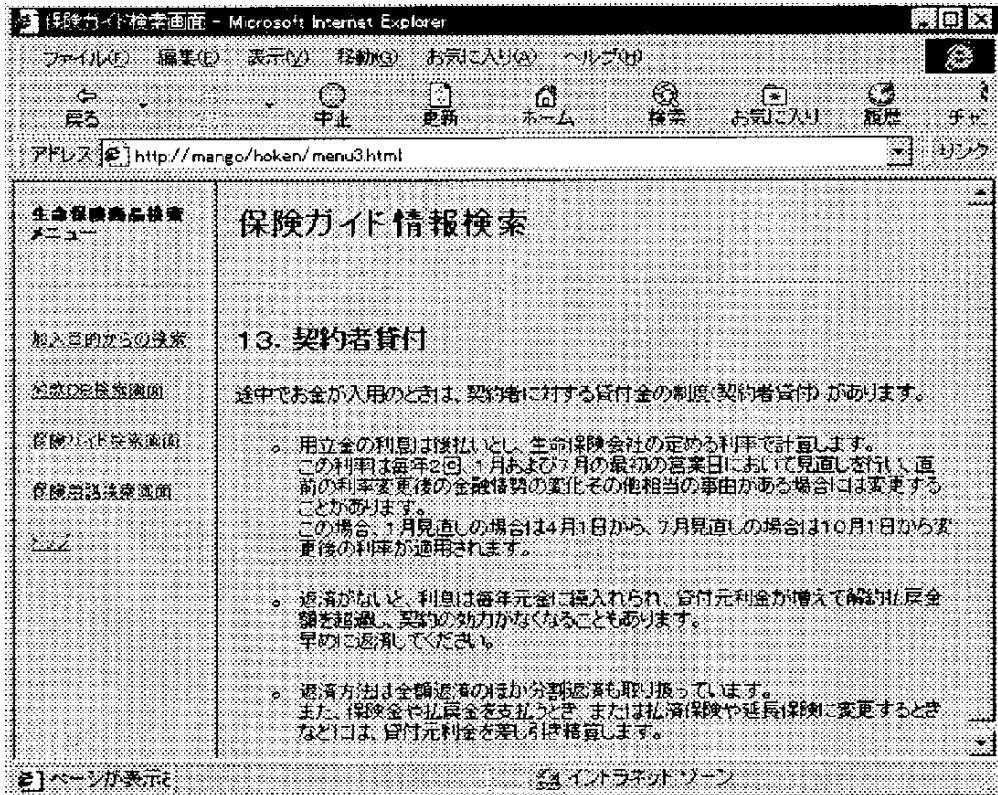


図 2 - 2 9

[保険金の支払]

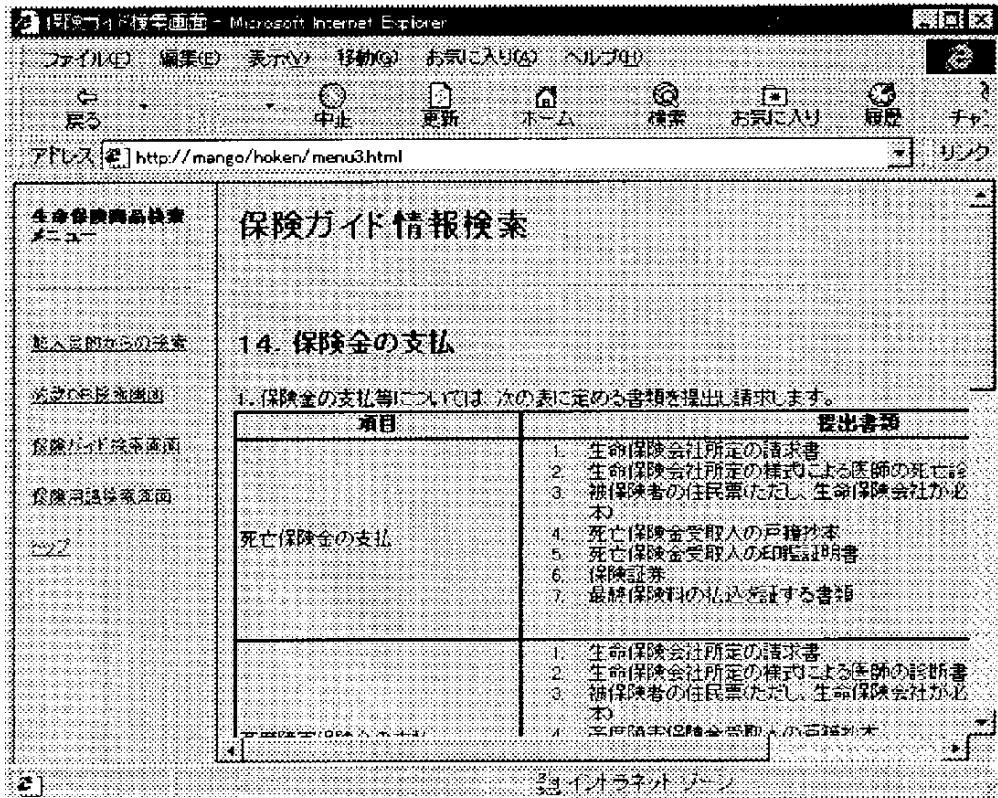


図 2 - 3 0

[生命保険料控除]

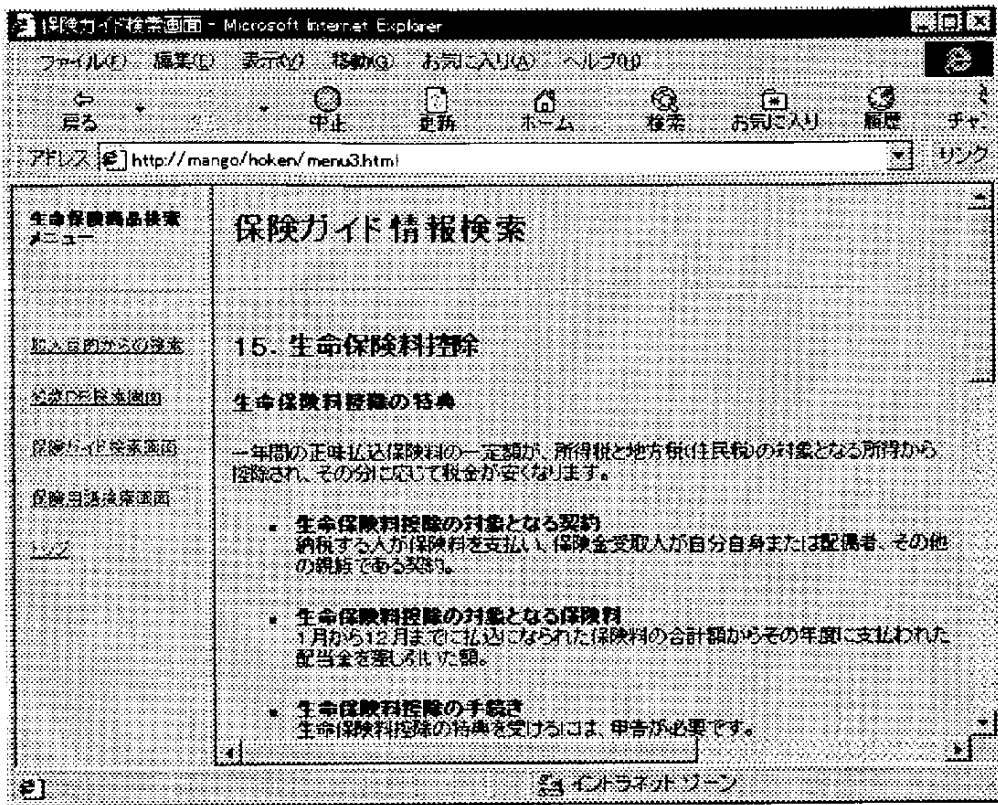


図 2 - 3 1

[生命保険にかかる税金]

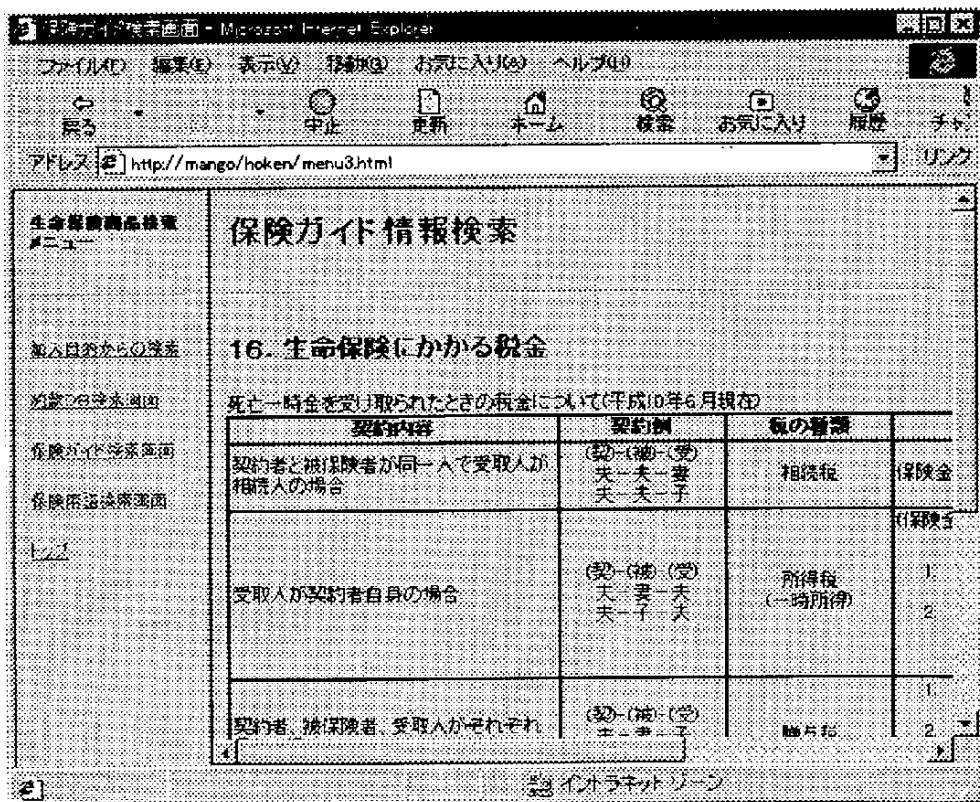


図 2 - 3 2

[公的個人年金]

保険ガイド検索画面 - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 移動(O) お気に入り(I) ヘルプ(H)

戻る 中止 更新 ホーム 検索 新規に入り 履歴 チャ

アドレス http://mango/hoken/menu3.html リンク

生命保険商品検索メニュー

保険ガイド情報検索

おとどけからの検索

17. 公的個人年金

項目	国民年金	厚生年金
加入者	自営業者、学生、専業主婦など20歳以上60歳未満の国内在住者	サラリーマン、OL、社員など。国民年金にも同時に加入。
保険料	一人一ヶ月13,500円(平成10年度)サラリーマン・公務員等の妻は扶養されている人は負担なし。 平成11年4月からは月14,000円。	給与の6.675% ボーナスからも0.5%を支払う。
払込方法	本人持参・振込・口座振替	給与天引き
払込期間	原則として20歳から60歳に達するまでの40年間。	サラリーマン在職中(最長64歳まで)20歳未満の人を支払う。
受け取る年金	老齢基礎年金	老齢基礎年金と老齢厚生年金
金額	最高で79.95万円(平成10年度)	150～250万円(らしいの人が多い)基礎年金と厚生年金の合計

ページが表示 50 インターネット

図 2 - 3 3

## 2. 4. 4 保険用語からの検索

(1) 図2-34で、保険用語検索画面をクリックした場合、保険用語検索画面(図2-35)が表示されます。

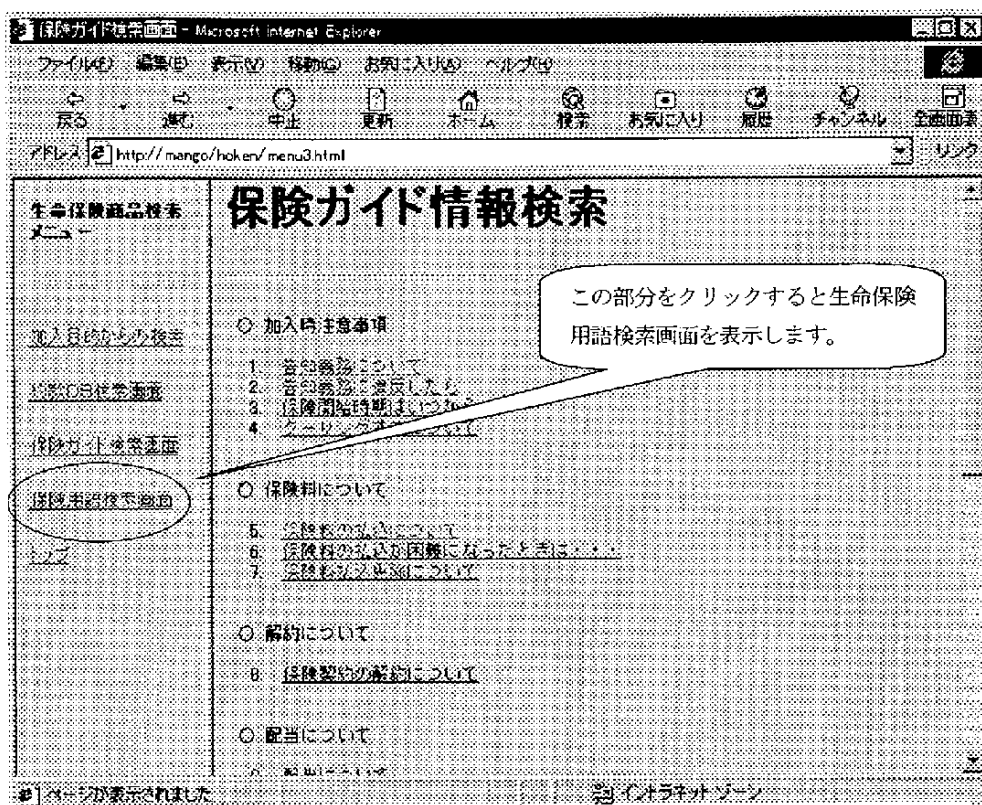


図2-34

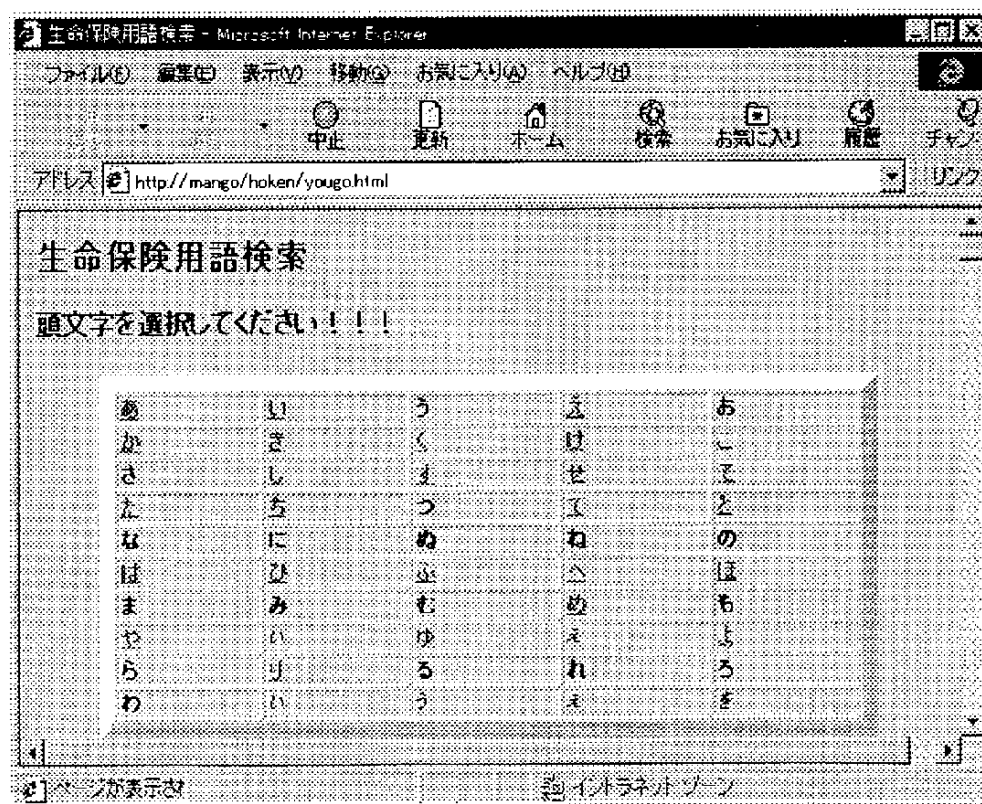


図2-35 保険用語検索画面

(2) 検索する生命保険用語の頭文字に該当する部分をクリックしてください。(図2-36)

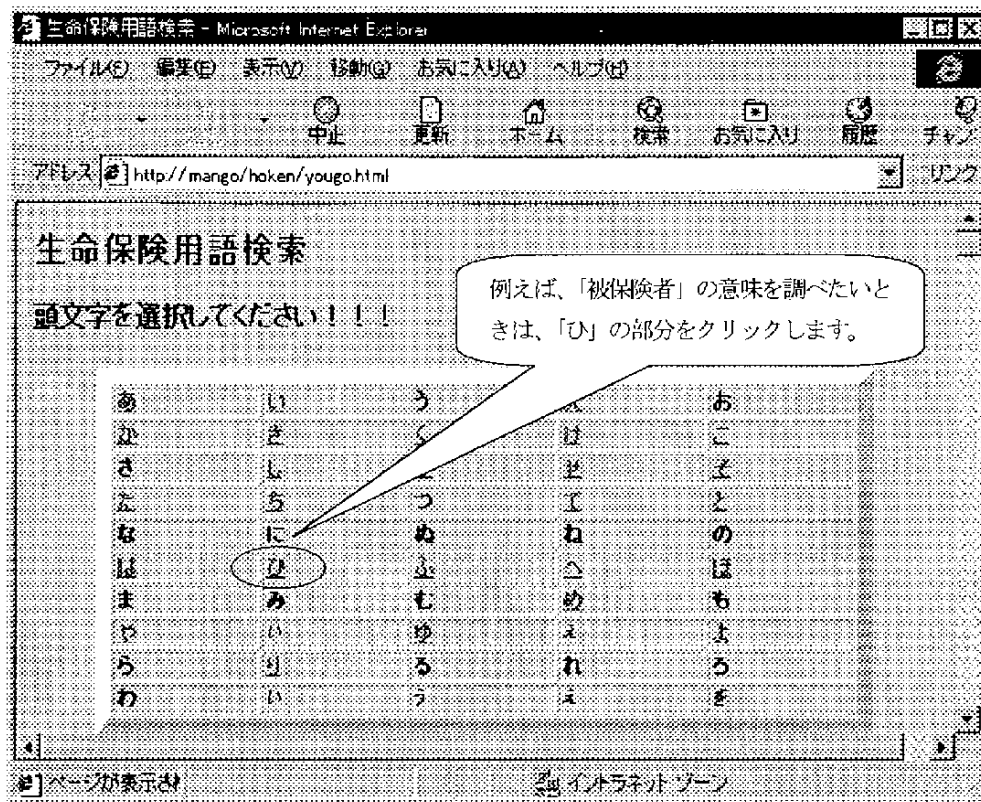


図2-36 生命保険用語検索画面

(3) 画面が該当する頭文字にジャンプします。(図2-36)

\*戻るをクリックすると、図2-35に戻ります。

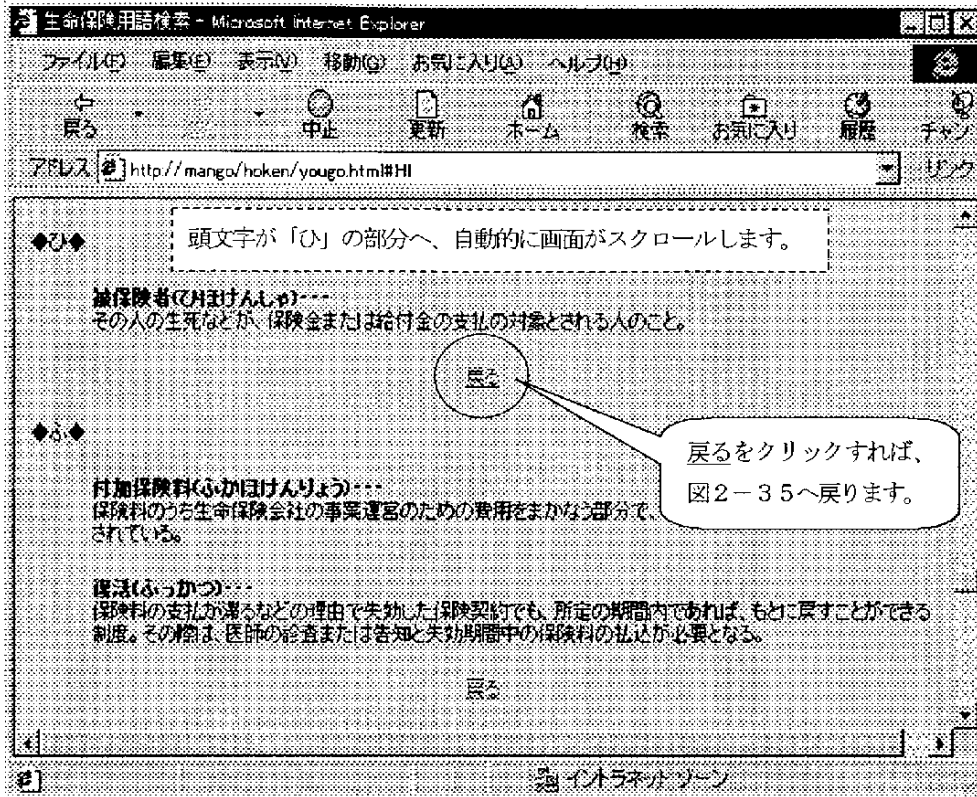


図2-36



### 3. プロトタイプ評価

#### 3. 1 利用評価

利用評価は社内から保険知識の少ない人から豊富な人、社外から生命保険会社の人まで25人にデモを行い、その後イントラネット環境下で操作し、評価用紙（図3-1）に記入した。なお、社外関係者は接続されていないため、デモの時に意見・感想を聞いた。

評価用紙は、各検索ごとに評価ジャンル／評価ポイントを「よい」、「まあまあ」、「普通」、「あまりよくない」、「よくない」の5段階に分けた。

評価用紙の集計と意見・感想を各検索ごとにまとめた。

##### 3. 1. 1 評価用紙集計

評価用紙の返却は15人中10人であった。以降に検索ごとの結果をまとめる。数字の単位は人数である。

表3-1 加入目的からの検索集計結果

評価ジャンル	評価ポイント	よい	まあまあ	普通	あまりよくない	よくない
操作面	操作性（使い勝手）		4	4	2	
画面 レイアウト/デザイン	画面のみやすさ			2	8	
表示内容	情報の質			3	7	
	情報の量		7	3		
性能、機能面	「検索」の到達度		7	3		
使用価値	利便性		1	4	5	

表 3 - 2 約款DB情報検索集計結果

評価ジャンル	評価ポイント	よい	まあまあ	普通	あまりよくない	よくない
操作面	操作性（使い勝手）			1	9	
画面	レイアウト/デザイン		1	1	8	
表示内容	情報の質			2	6	2
	情報の量			3	3	4
性能、機能面	「検索」の到達度		2	8		
使用価値	利便性			4	5	1

表 3 - 3 保険ガイド検索集計結果

評価ジャンル	評価ポイント	よい	まあまあ	普通	あまりよくない	よくない
操作面	操作性（使い勝手）	2	3	5		
画面	レイアウト/デザイン		2	4	4	
表示内容	情報の質	1	1	8		
	情報の量			10		
性能、機能面	「検索」の到達度			10		
使用価値	利便性		2	8		

表 3 - 4 保険用語検索集計結果

評価ジャンル	評価ポイント	よい	まあまあ	普通	あまりよくない	よくない
操作面	操作性（使い勝手）	5	3	2		
画面 レイアウト/デザイン	画面のみやすさ	2	2	4	2	
表示内容	情報の質	6	1	3		
	情報の量			10		
性能、機能面	「検索」の到達度			10		
使用価値	利便性	7	3			

[ 評価用紙 ]

評価項目	評価ジャンル	評価ポイント						意見・感想
			よい	まあまあ	普通	あまりよくない	よくない	
加入目的からの検索	操作面	操作性（使い勝手）						
	画面	画面のみやすさ						
	表示内容	情報の質						
		情報の量						
	性能、機能面	「検索」の到達度						
使用価値	利便性							
約款DB検索画面	操作面	操作性（使い勝手）						
	画面	画面のみやすさ						
	表示内容	情報の質						
		情報の量						
	性能、機能面	「検索」の到達度						
使用価値	利便性							
保険ガイド検索画面	操作面	操作性（使い勝手）						
	画面	画面のみやすさ						
	表示内容	情報の質						
		情報の量						
	性能、機能面	「検索」の到達度						
使用価値	利便性							
保険用語検索画面	操作面	操作性（使い勝手）						
	画面	画面のみやすさ						
	表示内容	情報の質						
		情報の量						
	性能、機能面	「検索」の到達度						
使用価値	利便性							

利用して感じたことを書いて下さい

### 3. 1. 2 評価用紙からの意見・感想

以降に各検索ごとの意見・感想をまとめる。

#### (1) 加入目的からの検索

- ・保険の名前でなく加入目的から検索できるというのはいいと思いました。
- ・商品DB詳細画面の画像が少し大きいと思う。
- ・関心のある保険商品の約款などが、すぐ見れるようにしたらさらに便利になると思う。
- ・『加入目的からの検索』というタイトルでは近寄りづらい。例えば「あなたにふさわしい保険をお選びします」となっていれば、少なくとも「どんなものだろう」という興味でアクセスすると思う。
- ・このページの冒頭で「保険」について簡単なレクチャがあるといい。特に「保障」と「貯蓄」で構成されており、そのバリエーションが様々な商品を形作っていることを説明すれば、条件の設定が分かり易くなる。
- ・ボタンも「検索実行」じゃなく「目的に合った保険を探します」のようなひと工夫が欲しい。
- ・保険商品検索が中心なのか約款検索が中心なのかわからない。
- ・どうして加入目的からの検索で約款部分までみせるのか。  
もし見せるのなら約款から目次をみせて検索させる方がいい。
- ・仕組図と商品説明を逆にして見せた方がいい。また、もっとビジュアル化した方がいい。
- ・特約をつけての自由設計はできるのか。
- ・せっかくの「コンテンツ」が見せ方の問題で埋もれてしまうのは、惜しいことです。
- ・「人を引き付けるとは何か」ということを考えて構築して欲しい。
- ・保険の営業社員と直接会って説明を受けなくても、自分の関心のある情報を閲覧したり資料請求ができて便利だと思いました。
- ・全体的に華やかさが無い。
- ・約款、保険商品説明等を作る側／見る側／使う側のどの視点から見るかを考えて欲しい。
- ・重要な事項は例示、図形等のイメージで表示した方がいいのではないかと、そうすることにより分かり易くなるのでは。文書だけのものは読まないと思う。
- ・誰に対して見せているものなのか。既存契約者か見込み客なのか分からない。既存契約者側からでは使えないと思う。
- ・作る立場を離れて、純粹に見る立場から見て欲しい。

## (2) 約款DB情報検索

- ・使い方があまりよく分かりませんでした。”DB”という言葉が消費者が分からないかもしれないと思いました。
- ・初めてこのページを見た人は、条件式やフリータームに何を入力すればよいのか分からないと思う。
- ・これは専門家が使うというので、ある程度形式的でもいいのですが、「専門家」といっても「保険の専門家」であり、決してシステムの構造を推理しながら使いこなす「情報処理の専門家」が相手ではないよですね。それだったら、面食らうのではないかな。
- ・「条件式」には何をいれるの。「使い方の説明」が欲しいな。
- ・まるでクイズみたいでした。
- ・約款DB検索は一般消費者には分かりづらい。
- ・どの約款がどの部署と関係あるかわかるようにして欲しい。
- ・約款の版管理が出来た方がいい。
- ・約款だけでなく、他の文書にも広げて欲しい。

## (3) 保険ガイド検索

- ・ガイドの説明文は読みやすいけれども一覧から選択する画面がさびしい感じがします。
- ・ガイド情報3番の「保障開始時期はいつから」の中にある図が見にくい。
- ・内容的にはいいと思うけど、これって検索？
- ・保険ガイドの内容に用語説明がリンクするともっとよくなるじゃないですか。
- ・具体例と絡ませてみせた方が消費者には分かり易い。
- ・保険ガイドを約款しおりから抜粋しているのなら、約款本文とリンクさせた方がいい。

## (4) 保険用語検索

- ・用語の説明が簡潔にまとめられていて分かり易いです。
- ・別のウィンドウに表示させる必要はないのではないかと思う。
- ・保険用語検索で保険金の種類を調べたいとかいうことはできるのか。
- ・保険用語について社外的な保険用語と社内的な保険用語があるから分けて表示したほうがいい。

### 3. 2 プロトタイプの問題点と成果

問題点は、共通意見として画面の見易さをもう少し考えてほしいことがあげられる。確かに文章が多過ぎる、ビジュアルが少ないということはいえる。また、言葉の表現として、[検索実行]ではなく[目的に合った保険を探します]のようなひと工夫が必要である。そして、使い勝手の悪さも目立つ。次に、利便性が感じられないことがあげられる。保険商品検索を中心にしたのか約款情報を中心にしたのかわからない。なぜ、ここで約款情報までみせなくてはいけないのかがはっきりしていない。一般消費者が対象といっても、どういう人たちが見るのかがはっきりしていない。

成果は保険商品名からダイレクトに商品説明を表示させるのではなく、「加入目的からの検索」のように注意を引く要素からアクセスさせているので一般消費者が保険商品を選び易い利点がある。また、今まで約款を見て条文等を探してた事務作業が約款がデータベース化されることでキーワード検索することができるようになり事務作業が効率化される。

## 4. 今後について

### 4. 1 課題

#### (1) 消費者に分かり易い画面設計を考える。

今回のプロトタイプは、評価にもあったように画面のみやすさ、情報の質が見る人のことを考えていない。「人を引きつける」とは、どうしたらいいのかを常に考えなければならない。例えば、ビジュアルを多くしたり、具体例をいれたりする工夫があるであろう。また、単純に画面を見せるのではなく、画面上の人と会話するような画面設計で、ストーリー性があるようなゲーム感覚のものを作ればより分かり易いものになると考えられる。

#### (2) ターゲットを決める。

今回のプロトタイプでは、消費者から保険知識を持っている人までが対象としているが、ターゲットがはっきりしていない。それは、誰を相手に情報を発信しているか分からないからである。それゆえ、ターゲットを決めて構築したのにもかかわらず、ターゲットがあいまいになっている。本来ならばインターネットは不特定多数を相手にしているので一般消費者だけをターゲットに絞らねばならなかった。さらに言うならば、漠然と一般消費者というだけでなく、消費者のなかにも保険について全く知らない人や保険種類ぐらの知識を持っている人や生命保険の知識が豊富な人などいて、それらをグループ化して、どういう情報が必要かを考えれば、もう少し利便性があがると考えられる。

#### 4. 2 効 果

今回のようなプロトタイプを作成することによりどのような社会的効果が現れるか推考してみる。

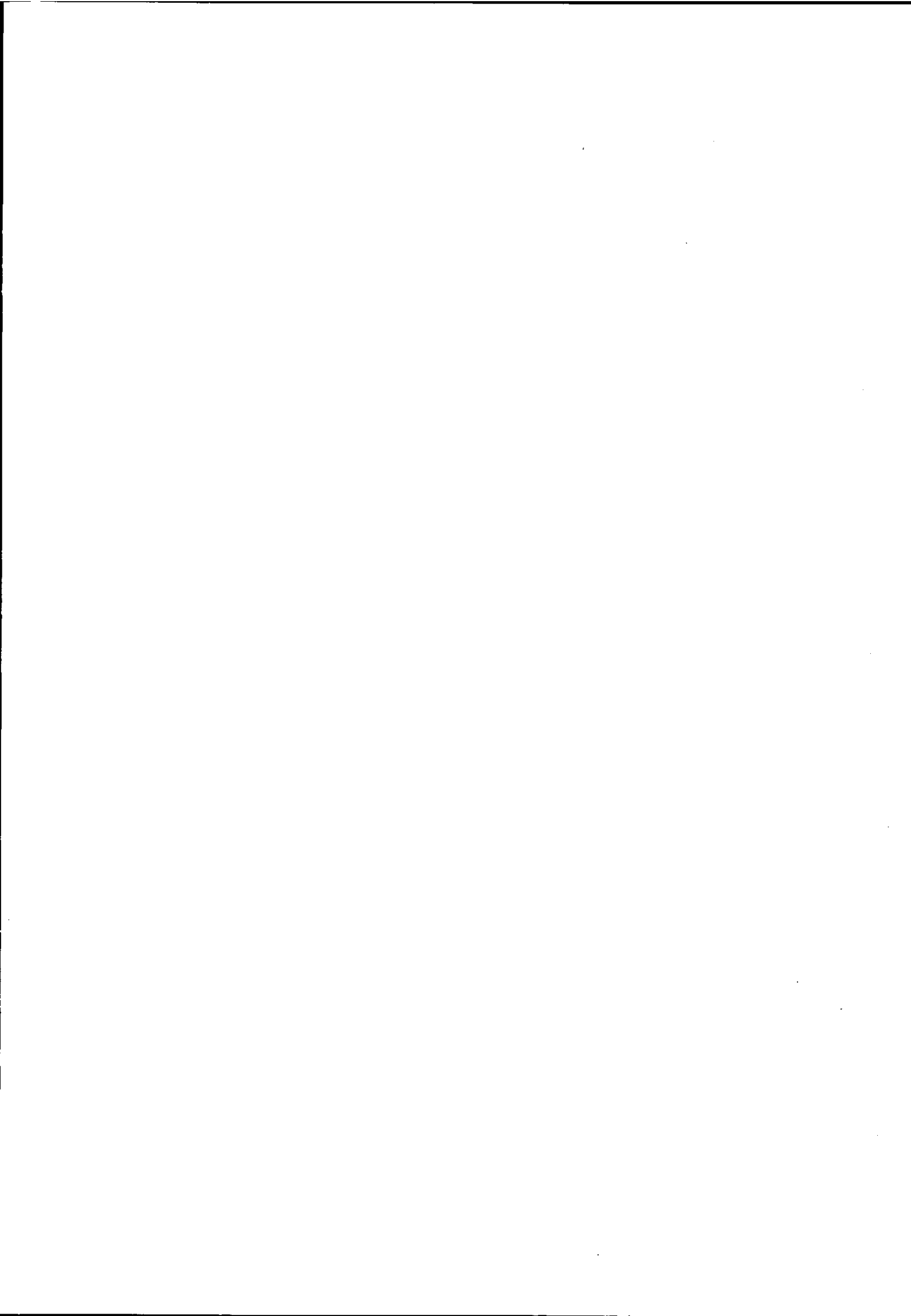
##### (1) 消費者の意識改革が進む。

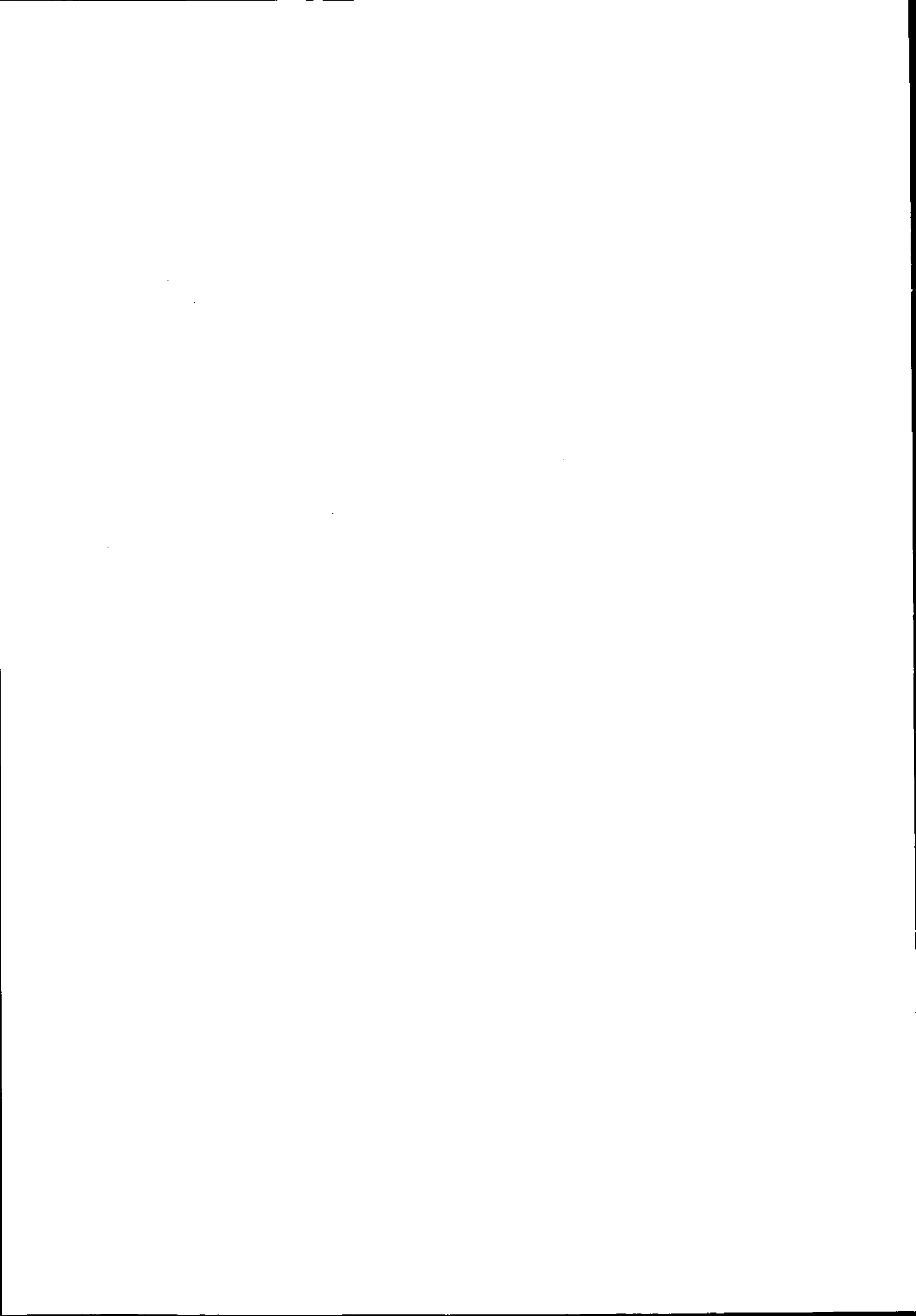
インターネットを使って商品を探すということは、今までのセールスマン等からの推奨商品を購入するのではなく、自らの意思で商品を選択しているのである。これは、これまでの日本における生命保険に対しての消費者の意識・行動として希薄であった自己責任で商品や会社を選択するという意識改革に役立つ効果がある。

##### (2) 生命保険会社の約款文書の電子管理が進む。

約款を作る側から言えば、約款文書が電子化されれば版数管理することも容易になる。そして各約款文書の共通ワードの検索をすることで、新商品が販売される時、約款作成が素早く対応できるようになる。







————— 禁無断転載 —————

平成11年 3 月発行

発 行 財団法人 データベース振興センター  
東京都港区新橋2丁目13番8号  
新橋東和ビル5階  
TEL 03-3508-2430

委託先 株式会社 平和情報センター  
東京都新宿区西新宿6丁目14番1号  
新宿グリーンタワービル19階  
TEL 03-3374-8546

印刷所 三好印刷 株式会社  
東京都中央区新川1-6-12

